

---

# **サーバー移行マニュアル**

## **【ver1.9】**

# サーバー移行マニュアル 目次

	1
	1
	1
	1
	2
	2
新サーバーの仕様・機能一覧	3
新サーバーへのデータ移行状況について	5
	6
1. 各種パスワードについて	6
	6
1-1. 各種パスワードの確認手順	6
	6
1-2.新しいパスワード情報の確認	6
	9
2. 新サーバーの確認方法	9
	10
2-1. 新サーバー管理画面について	10
	10
2-2. コントロールパネル ログイン方法【必須】	10
	12
2-3. コントロールパネルの構成と名称	12
	14
2-4. 新サーバーの情報を確認する	14
	16
2-5. ログインパスワードの変更方法	16
	18
3. メールアカウントの移行について	18
	18
3-1.既存のメール設定の確認	18
	23
3-2. メールソフトの設定	23
	25
Microsoft Outlook2013	25
	31
Microsoft Outlook2016	31
	37
Mozilla Thunderbird	37
	41
Windows10 メールアプリ	41
	44
Apple( Mac )Mail	44
	49
Gmail (PC版)	49
	53

---

3-4. Web メールについて	56
3-5. メールの内部配信について	58
3-6. メーリングリストについて	59
4. Web コンテンツの移行について	61
3-1. Web コンテンツの移行範囲とご注意点	61
4-2. ファイルマネージャでのデータ確認方法	61
4-3. FTP アカウント情報について	64
4-4. DNS 切り替え前にホームページの表示や動作を確認する	66
4-5. Web 表示でエラーが発生する場合	70
5. データベースについて	71
5-1. データベースを確認する	71
5-2. データベース移行について	73
6. Let's Encrypt の設定【必須】	74
6-1. Let's Encrypt の設定手順	74
7. DNS レコード設定	76
7-1. DNS レコードの確認	76
7-2. DNS レコード追加・変更	77
7-3. レコードの削除	83

## 新サーバーへの移行について

この度、品質の向上や機能改善に取り組むために、2021年2月以降より順次新サーバーへの移行を実施いたします。

お客さまにはご迷惑をおかけいたしますが、何とぞ、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

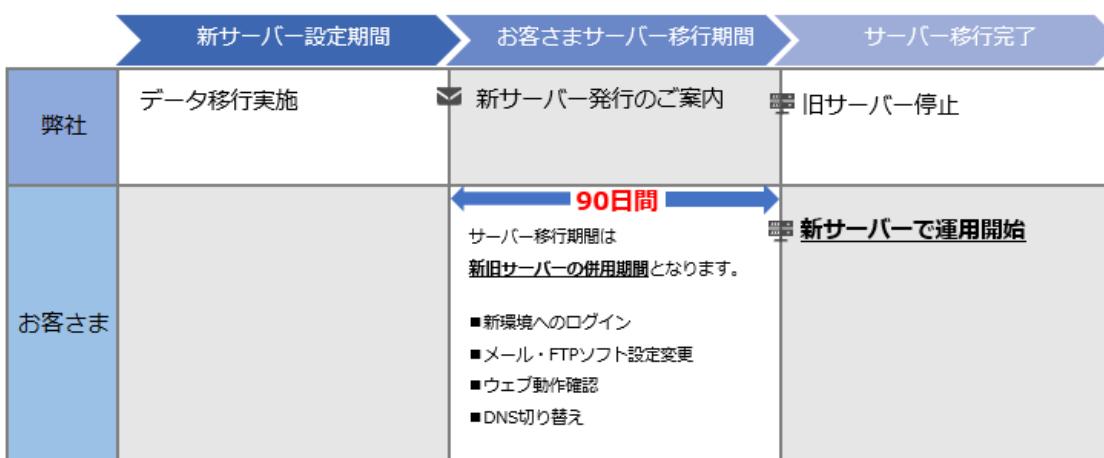
大変お手数をおかけいたしますが、本マニュアルをご参照のうえ、移行作業にご協力くださいますようお願い申し上げます。

### サーバー移行の流れ

サーバー移行は、お客さまごとに実施時期が異なります。

新サーバーの領域が完成後、個別にメールにてサーバー情報をご案内いたします。

新サーバー領域の完成から旧サーバー領域の停止までの期間は**90日間**となります。



なお、新サーバーの領域作成後は、新サーバーにメールが届く可能性があるため、弊社からのデータ移行完了メールが届きましたら、【メールソフトの設定】まではお早めにご対応くださいよう、お願いいたします。

※新サーバーの領域作成後に新サーバーへメールが届く可能性については[こちらをご覧ください](#)。

※新サーバーに届くメールについては、Webメールでも受信有無の確認が行えます。[こちらをご覧ください](#)。

### ご利用料金について

サーバー移行後も、現在ご契約中のプラン・ドメインのご利用料金につきましては変更ございません。

詳細につきましては、ご契約に関するご利用ガイドを公開いたしますので、今しばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。

## ■ サーバー表記について

本マニュアル内では、移行前サーバーと移行後のサーバーについて、下記のように表記しております。

移行前サーバー : **旧サーバー**

移行先サーバー : **新サーバー**

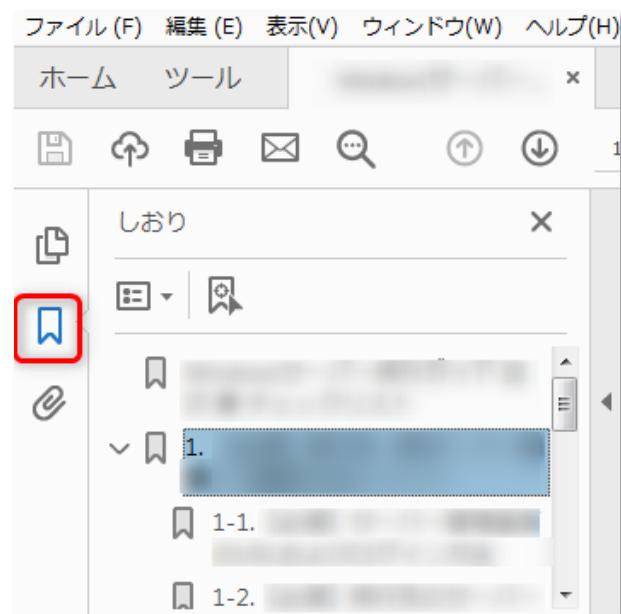
## ■ 本マニュアルについて

本マニュアルは内容が多岐にわたるため、PDFで表示させる際に、「しおり」を表示していただくと、ご覧になりたい項目にすぐに移動することができます。

### 【Adobe Acrobat Reader DC】

Acrobat Reader DC で PDF を開きます。

画面左の『▶』のマークをクリックし、しおりを開くことができます。



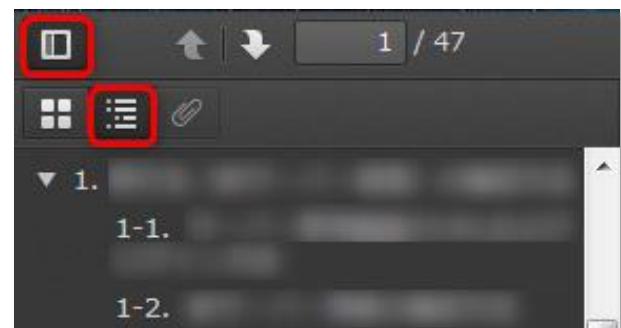
### 【Google Chrome】

Chrome で PDF を開いた際、画面右上に表示されるしおりのマークをクリックし、しおりを開くことができます。



### 【Fire Fox】

FireFox で PDF を開いた際、画面右上に表示されるしおりのマークをクリックし、しおりを開くことができます。



## 新サーバーの仕様・機能一覧

新サーバーの仕様・機能の一覧です。従来のサーバーでご利用いただけていたサービスにつきましても、新サーバーにてご利用いただけない機能なども一部ございます。あらかじめご容赦くださいますようお願いいたします。

機能一覧		旧サーバー プラスアルファ										新サーバー プラスアルファ									
		10GB	20GB	30GB	40GB	エントリー	ノーマル	プロフェッショナル	エキスパート	旧サーバーコース	10GB	20GB	30GB	40GB	エントリー	ノーマル	プロフェッショナル	エキスパート	旧サーバーコース		
基本機能	容量	10GB	20GB	30GB	40GB	15GB	20GB	30GB	40GB	20GB	10GB	20GB	30GB	40GB	15GB	20GB	30GB	40GB	20GB		
	データセンター	日本国内										日本国内									
	転送量	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	
	サーバーコントロールパネル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	独自ドメイン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	マルチドメイン	3個	6個	9個	20個	4個	6個	8個	20個	6個	3個	6個	9個	20個	4個	6個	8個	20個	6個		
	サブドメイン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	FTPアカウント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3個	6個	9個	20個	4個	6個	8個	20個	6個		
	サブFTPアカウント	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12個	24個	36個	80個	16個	24個	32個	80個	24個		
	CGI・SSI	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
WEB関連	PHP	5.3.x / 5.6.x / 7.2										5.4.x / 5.6x / 7.0.x / 7.1.x / 7.2.x / 7.3.x / 7.4.x									
	Perl	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	CRON	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	MySQL	5.1系										5.6.x / 5.7.x									
	PostgreSQL	8.4系										9.2.24									
	MariaDB	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.5.x										
	SQLite	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	.htaccess	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	TELNET・SSH	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	バックアップ機能	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
メール機能	DNSレコード編集機能	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Let's Encrypt	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	独自SSL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	メールアドレス	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	
	メーリングリスト	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	10 (10~無制限)	
	メール転送/自動応答	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	Webメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	メールアーカイブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

機能一覧		旧サーバー			新サーバー		
		ギガサーバー			ギガサーバー		
		Aコース	Bコース	Cコース	Aコース	Bコース	Cコース
基本機能	容量	10GB	30GB	50GB	10GB	30GB	50GB
	データセンター	日本国内			日本国内		
	転送量	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	サーバーコントロールパネル	○	○	○	○	○	○
ドメイン	独自ドメイン	○	○	○	○	○	○
	マルチドメイン	—	—	—	3個	20個	20個
	サブドメイン	○	○	○	○	○	○
WEB関連	FTPアカウント	○	○	○	3個	20個	20個
	サブFTPアカウント	—	—	—	—	—	—
	CGI・SSI	○	○	○	○	○	○
	PHP	○	○	○	5.4.x / 5.6.x / 7.0.x / 7.1.x / 7.2.x / 7.3.x / 7.4.x		
	Perl	○	○	○	○	○	○
	CRON	○	○	○	○	○	○
	MySQL	5.1系			5.6.x / 5.7.x		
	PostgreSQL	8.4系			9.2.24		
	MariaDB	—	—	—	5.5.x		
	SQLite	○	○	○	○	○	○
	.htaccess	—	—	—	○	○	○
	バックアップ機能	—	—	—	○	○	○
セキュリティ	DNSレコード編集機能	—	—	—	○	○	○
	Let's Encrypt	○	○	○	○	○	○
独自SSL	Let's Encrypt	○	○	○	○	○	○
	独自SSL	○	○	○	○	○	○
メール機能	メールアドレス	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限	無制限
	メーリングリスト	○	○	○	10 (※※無制限)	10 (※※無制限)	10 (※※無制限)
	メール転送/自動応答	○	○	○	○	○	○
	Webメール	○	○	○	○	○	○

## 新サーバーへのデータ移行状況について

基本的なデータは、弊社にてデータ移行を実施しておりますが、仕様の違い等により、弊社であらかじめ移行している情報とお客様にてご確認、または、新たに設定していただく情報がございます。

※**赤字**で記載されている箇所は、移行はされていますが、確認や再設定などお客様作業が必要な項目となります。

※新サーバーには**新しいパスワードが割り当てられた状態で移行**されております。また、サーバー自体も変更されているため**サーバー名・IP アドレスも変更**されています。

項目	移行状況	お客様作業
メールアカウント	移行される	
メールアカウントのパスワード	移行されない	新しいパスワードでメールソフトの設定が必要です。
メールデータ	移行されない	新しいパスワードでメールソフトの設定が必要です。
コンテンツデータ	移行される	差分は移行されません。またパスは変更されないです。
FTP アカウント	移行されない	新しいアカウントでFTP ソフトの設定が必要です。
FTP パスワード	移行されない	新しいパスワードでFTP ソフトの設定が必要です。
DB データ	移行される	差分は移行されません。
DB ユーザー	移行されない	新しいユーザー名に修正が必要です。
DB パスワード	移行されない	新しいパスワードで設定が必要です。
DNS レコード情報	移行される	※旧サーバーのIP アドレスを使用しているレコードは、新しいサーバーのIP アドレスに書き換えます。外部のIP アドレスを使用しているレコードは書き換え対象外です。
メール転送設定	移行される	
メーリングリスト	移行される	※メーリングリスト作成とメンバーのみ移行されます。
メーリングリスト管理者	移行される	
メーリングリストパスワード	移行されない	新しいパスワードでメーリングリストの設定が必要です。
Web メール	移行されない	新たに Web メールの設定が必要です。

### ◆ ドメインのみをご契約のお客さま

サーバーのご契約がなく、ドメインのみをご契約・管理をされているお客様は、「サーバー移行」の『2. 各種パスワードについて』～『5. Let's Encrypt の設定』の手順はご不要です。詳細につきましては、ご契約に関するご利用ガイドを公開いたしますので、今しばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。

## 1. 各種パスワードについて

現在ご利用いただいているサーバー管理画面と新コントロールパネルではパスワードポリシーが異なるため、各種パスワードは引き継ぎされず、すべて新しいパスワードの発行となります。

※旧サーバーで設定されていたパスワードは引継ぎされません。

### 1-1. 各種パスワードの確認手順

新しいパスワードにつきまして旧サーバーの [migration new account.txt](#) に保存されております。

FTP接続していただき [migration new account.txt](#) をローカルにダウンロードいただけますようお願い申し上げます。

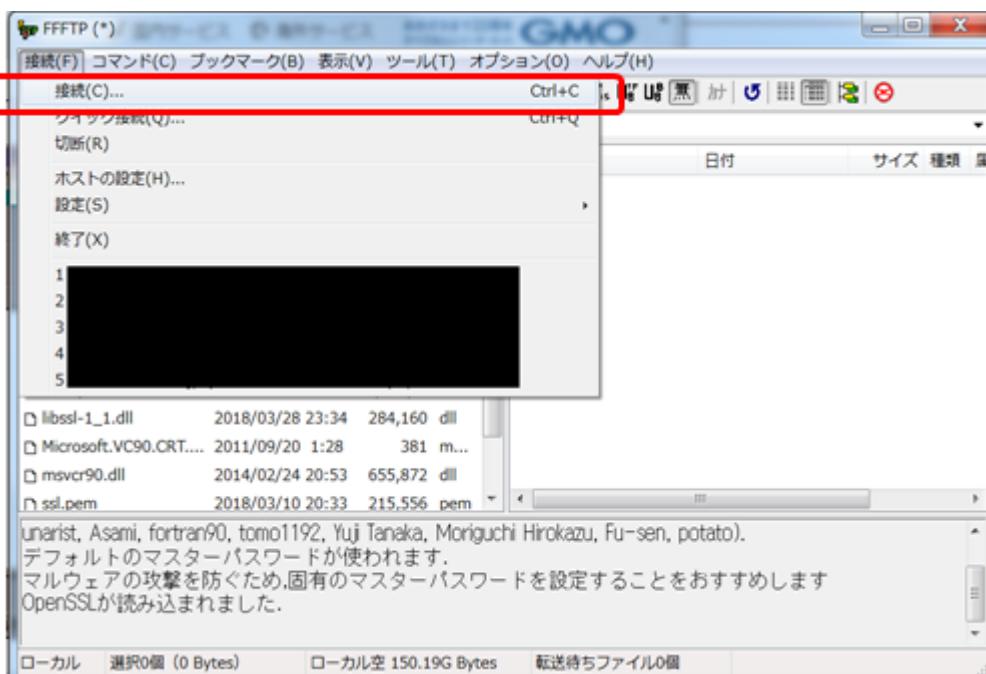
なお、migration\_new\_account.txt には新サーバーの設定情報がすべて記載されていますので、**取り扱いには十分にご注意ください。**

**/public\_html 配下には上記ファイルを置かないようにご注意ください。**

### 1-2. 新しいパスワード情報の確認

#### 1-2-1. FFFTPでの確認手順

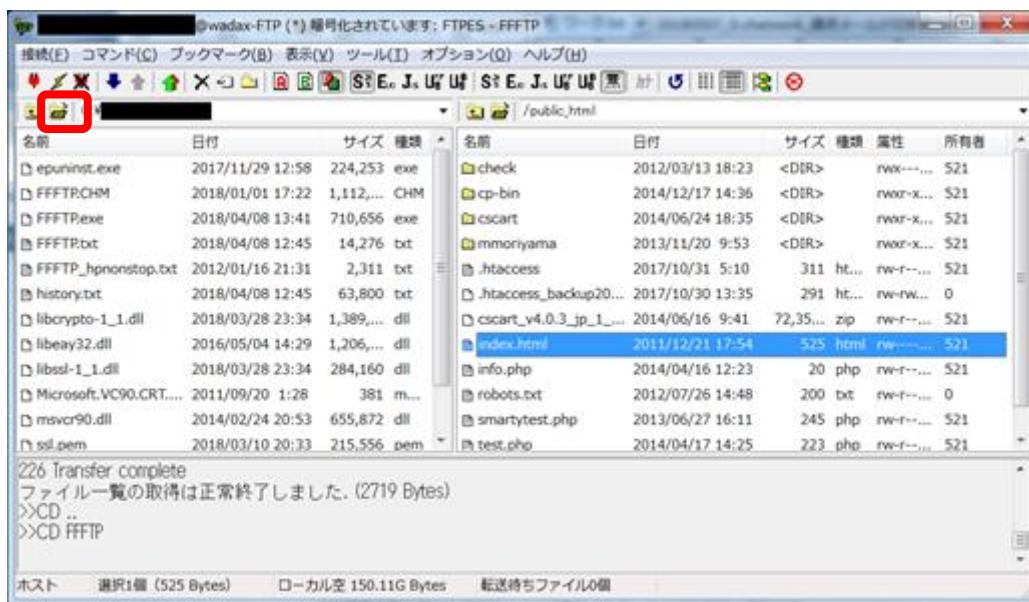
- STEP1. FFFTPを起動します。起動するとメニューbaruに「接続」という項目がありますのでクリックします。



- STEP2. 「接続」ボタンをクリックした後に、以下のような証明書の確認画面が表示される場合は、「OK」をクリックします。

■ **STEP3.**FTP画面右側にフォルダやファイルを表示されましたら、ダウンロードするファイルの保存先を指定します。

ウィンドウの左側で赤枠（フォルダーの変更アイコン）をクリックします。



■ **STEP4.**保存先を指定する画面が表示されますので、保存先としたいフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

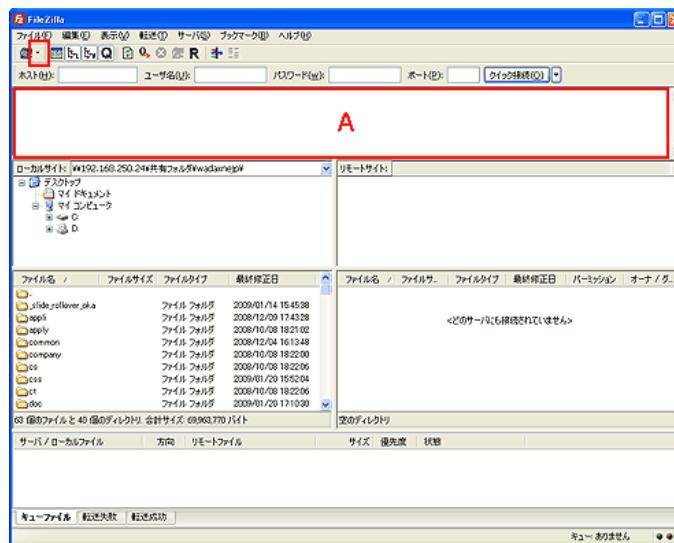
■ **STEP5.**画面右側から migration\_new\_account.txt を探していただき、画面右側（ホスト）から左側（ローカル）へドラッグ&ドロップして移動します。

■ **STEP6.**ダウンロード開始されます。ダウンロードが完了しますと「ダウンロードは正常に終了しました。」とログが表示されましたらダウンロード完了です。

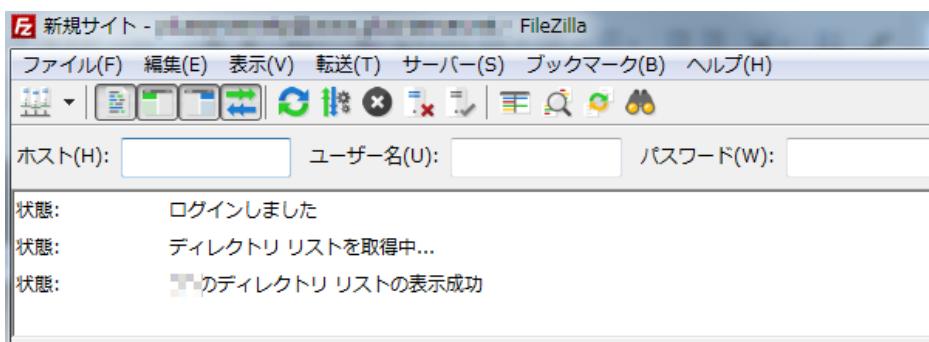
■ **STEP7.**保存先に「migration\_new\_account.txt」が保存されたことをご確認ください。

## 1-2-2. Filezilla での確認手順

- **STEP1.** FileZilla を起動します。
- **STEP2.** 「サイトマネージャーを開く」ボタン右横に三角を押します。プルダウンから設定済みのサイト名を選んで接続します。現在の接続状況が <A> ウィンドウに表示されます。



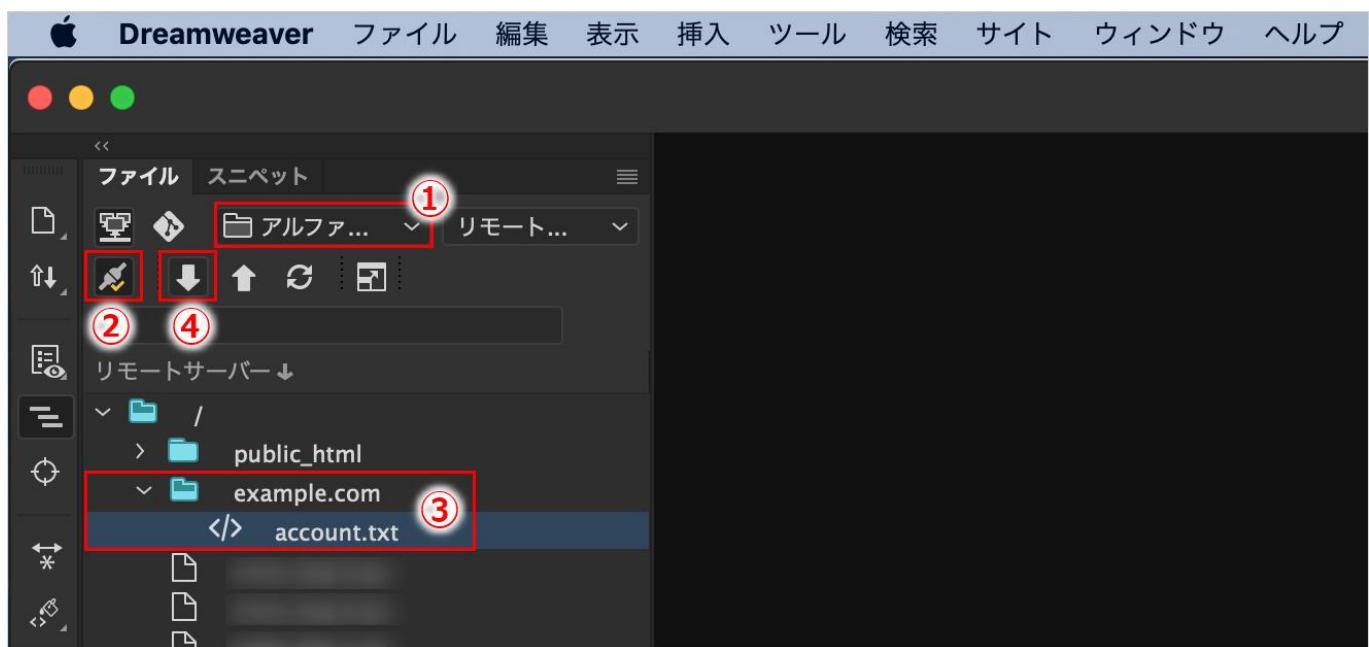
- **STEP3.** サーバーへの接続が成功すると <A> ウィンドウの状態に「\*\*のディレクトリリストの表示成功」と表示されます。



- **STEP4.** 画面右側（リモートサイト）から **migration\_new\_account.txt** を探していただき、画面左側（ローカル）へ ドラッグ&ドロップして保存先としたフォルダに移動します。
- **STEP5.** 保存先に「**migration\_new\_account.txt**」が保存されたことをご確認ください。

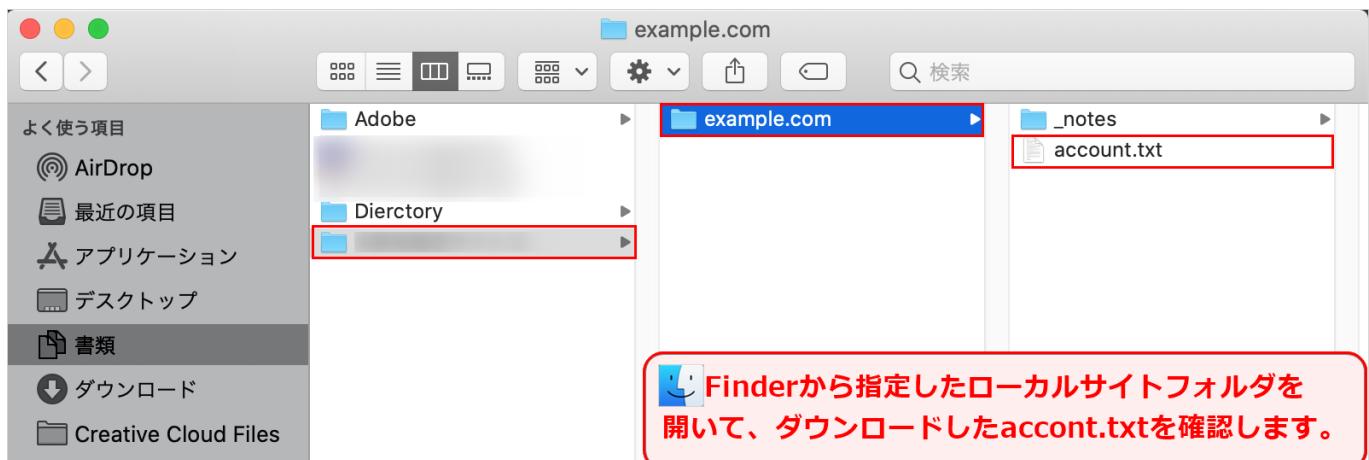
## 1-2-3. Dreamweaver2021 (AdobeCC) での確認手順

- **STEP1.**DreamWeaverを起動します。
- **STEP2.**サイト設定済みの場合は、ご利用の旧サーバーのサイト設定からダウンロードします。
  - ① 接続するサイト設定を選択します。
  - ② 接続ボタンをクリックします。
  - ③ 「リモートサーバー」に接続しましたら migration\_new\_account.txt を探して選択します。
  - ④ 下向き矢印の「GET」ボタンをクリックして、該当のファイルをローカルサイトに保存します。



### ■ STEP3.

Finderを開き、DreamWeaverで指定したローカルサイトフォルダを開いて、ダウンロードした「migration\_new\_account.txt」が保存されたことをご確認ください。



## 2. 新サーバーの確認方法

## 2-1. 新サーバー管理画面について

従来の『お客さま管理画面（ユーザーサポートページ）』『サーバー管理画面』は、新サーバーの『コントロールパネル』へ変更となります。

新サーバーの準備が完了いたしましたら、メールにて新サーバーのログイン情報等を下記の件名にてご案内いたします。

コントロールパネルでは、サーバーの設定など、弊社サーバーサービスをご利用いただくうえで必要な設定を行うことができます。

## 2-2. コントロールパネル ログイン方法 **必須**

ログインに必要な情報は、[1-1.各種パスワード](#)の確認手順を参考にご確認をお願いいたします。

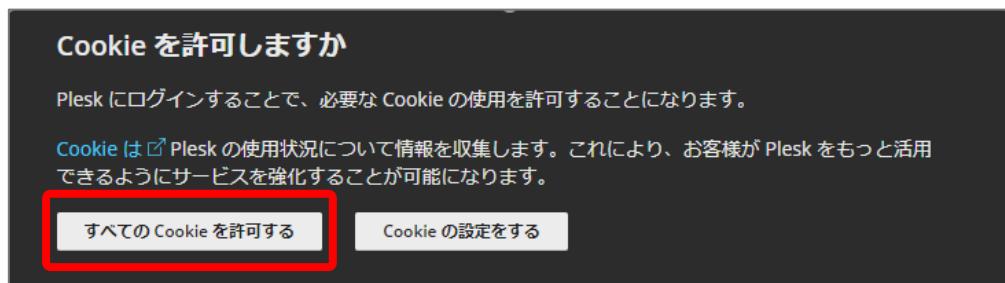
### ■件名：【GMO クラウド】新サーバーへの移行完了とログイン情報のお知らせ

- **STEP1.**メール内に記載されている【コントロールパネルの URL】にアクセスします。



※移行先サーバーはご契約ごとに異なります。

- **STEP2.**コントロールパネルに初めてログインする際、画面上部に「Cookie を許可しますか」のメッセージが表示されます。基本的には「すべてのCookieを許可する」をクリックします。



※Cookie とは、ブラウザ上に一時的に保存されるデータです。Plesk ログイン時のユーザー名、パスワード、訪問回数などの情報を保存します。

- **STEP3.**【ユーザー名】【パスワード】を入力し【ログイン】をクリックします。



- **STEP4.**ログイン完了です。ログインが完了すると、TOP 画面が表示されます。

## ◆ コントロールパネルの「ビュー」について

コントロールパネルは、初期設定では「サービスプロバイダビュー」にて表示されます。

「インターフェース設定」をクリックすることで「パワーユーザービュー」を選択し切り替えすることができます。

**※使用する「ビュー」により、コントロールパネルの左側メニュー名の表示が異なりますのでご注意ください。**

※移行ガイドでは **「サービスプロバイダビュー」での設定手順**をご案内しておりますのであらかじめご了承ください。

### ▼ログイン直後の画面 サービスプロバイダビュー ※こちらの画面でご案内いたします。



### ▼パワーユーザービューの画面

パワーユーザービューでは顧客アカウント、サービスプラン、契約の管理機能が搭載されていません。

その他、Webサイトやメールなどのホスティング管理に関わる機能はご利用いただけます。



## 2-3. コントロールパネルの構成と名称

### ◆ サービスプロバイダビュー

ホスティングサービスメニューとして、[顧客]、[契約]、[サービスプラン]などの詳細が表示されます。

※移行ガイドでは「サービスプロバイダビュー」での設定手順をご案内しておりますのであらかじめご了承ください。

ホスティングサービス	
ホーム	アカウントの概要が表示されます。 使用開始日やプラン名、ご契約内のリソース使用量の詳細、登録されているドメイン契約のリストなどが表示されます。
顧客	あんしん WP サーバーでは、本メニューは使用できません。
ドメイン	登録されたすべてのドメインを確認できます。 あんしん WP サーバー内で使用するドメイン、サブドメイン、ドメインエイリアスの追加や削除、一時停止・無効化・アクティブ化などのステータス変更が可能です。
契約	あんしん WP サーバー内で使用するすべての契約が表示されます。
サービスプラン	サービスプランを管理できます。
ツールとユーティリティ	あんしん WP サーバー内のリソース使用量統計などが表示されます。 概要レポートや割り当てられた IP アドレス、トラフィック使用量、ドメインごとのリソース使用状況、バックアップマネージャー、 アクティブ Plesk セッションやアクティブ FTP セッションなどを確認することができます。
WordPress	あんしん WP サーバー内で使用する、すべての WordPress が表示されます。 WordPress のインストール、スキャン、アップデート、セキュリティのチェックなどが行えます。
追加サービスへのリンク	
phpPgAdmin	phpPgAdmin の管理画面が別ウィンドウで表示されます。
[ヘルプ]ご利用ガイド	[あんしん WP サーバー]ご利用ガイドが表示されます。

マイプロファイル	
プロファイル	あんしんWPサーバー内で使用するアカウントの連絡先情報などを編集できます。 ※あんしんWPサーバーでは、本メニューの設定はご不要です。
パスワード変更	コントロールパネルのログインパスワードを変更できます。 ※パスワードは「強」と表示される組み合わせでご設定ください。 [生成]をクリックすると「強」のパスワードが自動で入力されます。 ※数字、アルファベットの大文字/小文字、特殊文字 (!、@、#、\$、%、^、&、*、?、_、～など) が使用できます。 ※パスワードを変更する場合は、必ず[表示]をクリックし、パスワード情報を控えていただきますようお願いいたします。
インターフェース設定	複数のセッション（コントロールパネルへの同時ログイン）を許可するかなどの設定や、表示させる「ビュー」の設定が可能です。 ※インターフェース言語は「日本語」のみで、変更は不可となります。

## 2-4. 新サーバーの情報を確認する

旧サーバーでご利用いただいているプランと同じプランが設定されています。念のため、正しく移行されているかどうかを、お客様ご自身でご確認いただくことをお勧めいたします。

### 2-4-1. 新サーバーのプラン名の確認手順

- **STEP1.**コントロールパネルにログインします。
- **STEP2.**ホーム > 概要欄 > サービスプランをご確認ください。

※画面の構成上、プラン名が省略されております。

※プラン名の後ろはログインIDになります。

ブランド名	旧サーバーのプラン名	コントロールパネルに表示されるプラン名
プラスアルファ	10G	a10
	20G	a20
	30G	a30
	40G	a40
	エントリー	aentry
	ノーマル	anormal
	プロフェッショナル	apro
	エキスパート	aexpert
ギガサーバー	旧サーバー	aold
	A コース	ga
	B コース	gb
	C コース	gc

## 2-4-2. 新サーバーのIPアドレス情報の確認手順

新サーバーでは、サーバーが変更されたため、IPアドレス情報が旧サーバーと異なっております。

新サーバーのIPアドレス確認方法は、以下のとおりです。

- **STEP1.**コントロールパネルへログイン > 左側メニューのツールとユーティリティをクリックします。画面右側に「リソース」が表示されますので、「IPアドレス」をクリックします。

The screenshot shows the WADAX control panel interface. On the left, there's a sidebar with various menu items like Home, Hosting Services, Customers, Domains, Contracts, Service Plans, Tools and Utilities (which is highlighted with a red box), WordPress, and more. The main content area is titled 'Tools and Utilities' and contains a sub-section 'Resources'. Within 'Resources', there are several links: 'Report Summary' (with a red arrow pointing to it), 'IP Address' (also with a red arrow), 'Virtual Host Template', 'Customer Traffic Usage', 'Domain Resource Usage', 'Application Vault', and 'Domain Traffic Usage'. The top right corner of the main window has the Plesk logo.

- **STEP2.**「IPアドレス」に表示されている情報が新サーバーのIPアドレスになります。

The screenshot shows the 'IP Address' page. The left sidebar is identical to the previous one. The main area has a title 'IP Address' and a search bar. Below it is a table with the following columns: S, T, IP Address (with an upward arrow), and証明書 (Certificate). The first row of the table is highlighted with a red box. At the bottom right of the table, there are buttons for 'ホスティング' (Hosting) and '0'.

## 2-5. ログインパスワードの変更方法

コントロールパネルのログインパスワードを変更される際は、以下の手順で変更が行えます。

- **STEP1.** コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「パスワード変更」をクリックします。



The screenshot shows the WADAX Control Panel interface. On the left, there's a sidebar with links like 'Home', 'Hosting Services', 'Customer', 'Domain', 'Contract', 'Service Plan', 'Tools & Utilities', 'WordPress', 'Link to Other Services', 'phpPgAdmin', 'Helpful Guide', 'Application Form Options', 'My Profile', 'Profile', and 'Password Change'. The 'Password Change' link is highlighted with a red box. The main content area has sections for 'Overview' (Setup Date: 2021/02/4, Service Plan: a10-[redacted], Disk Space: 10 GB / 0 MB used, Traffic: Unrestricted / 0 MB/month used), 'Resource Usage Details', and 'My Contract' (Customer: 0 items [New Add], Contract: 0 items [New Add], Service Plan: 1 item [New Add]).

- **STEP2.** 画面右側に「パスワード変更」が表示されますので、「パスワード」にお客さまにて作成された任意のパスワードを入力します。または、[生成] をクリックするとパスワードが自動生成されます。



The dialog box title is 'Password Change'. It says 'Change the password used to access Plesk.' There's a 'User Name' field with a redacted value. Below it is a 'Password' input field, which is also highlighted with a red box. Underneath are 'Generate' and 'Show' buttons. Below that is a 'Password Confirmation' input field. At the bottom are three buttons: 'OK' (blue), 'Apply' (blue), and 'Cancel' (gray). A note at the bottom left says '\* Required Field'.

- **STEP3.** 「パスワード再入力」に作成したパスワードを再入力します。
- **STEP4.** [OK] または [適用する] をクリックするとコントロールパネルにログインするためのパスワードが変更されます。



# Mail

### 3. メールアカウントの移行について

メールアカウントは弊社にて移行済みですが、パスワードが変更されておりますのでご注意ください。

そのため、メールソフトに設定されたメールアカウントは、再設定を行っていただく必要があります。

なお、新しいパスワードにつきまして 1.各種パスワードについて確認方法を記載しております。

#### 3-1.既存のメール設定の確認

メールアカウント設定の移行状況は、以下のとおりです。

メールアカウント	移行済み
転送設定	移行済み
メーリングリスト	移行済み ※アーカイブは移行されません。 ※メーリングリストの件名にナンバリングが付与されていますが、移行後は初期化されます。
メールエイリアス	移行済み

なお、移行されている情報は、【サーバー移行日の前日】の設定内容です。

そのため、弊社での移行作業日の当日以降に追加・編集されたメールアカウントは反映されませんので、ご注意ください。

移行済みのメールアカウントは、以下の手順で確認可能です。

- STEP1. コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



- STEP2. 移行された契約一覧が表示されますので、移行済みのメールアカウントを確認したいドメイン名をクリックします。



- STEP3.上部タブから「メール」をクリックします。または  メール からもご確認可能です。



- STEP4.移行されたメールアドレスの一覧がご確認いただけます。

The screenshot shows the 'Mail Addresses' section of the WADAX control panel. The top navigation bar has the 'Mail' tab selected. Below the navigation bar, there are three tabs: 'メールアドレス' (Email Address), 'メール設定' (Email Settings), and 'メーリングリスト' (Mailing List). A note below the tabs states: 'ドメインに紐付けられたメールアカウントを作成・管理します。メールアカウントごとに、メールボックス、同じメールボックスに追加できるメールアドレス（メールエイリアス）の数、自動応答、1つ以上のメールアドレスへのメール転送などをセットアップすることができます。また、アンチスパムやアンチウイルスのサービスを使用できるアカウントの場合、これらをセットアップすることもできます。' (Create and manage email accounts associated with the domain. For each account, you can set up the number of mailboxes, aliases, automatic responses, and email forwarding to one or more addresses. Additionally, for accounts that support anti-spam and anti-virus services, you can set them up.)

Below the note, there are buttons: '+ メールアドレスを作成' (+ Create Email Address), '使用量統計を更新' (Update Usage Statistics), and '削除' (Delete). To the right is a search bar. The main table lists email addresses. The first row shows '全1件' (1 item total) and 'ページあたりのエントリ数: 10 25 100 すべて' (Entries per page: 10 25 100 All). The table has columns: 'メールアドレス' (Email Address), 'ユーザ' (User), and '使用量' (Usage). The first row in the table has a red box around the 'メールアドレス' column value: '████████@████████.██'.

### 3-1-1. メールサーバー情報

- ◆ 受信・送信サーバー情報は全ユーザー共通です。

受信サーバー	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。
送信サーバー	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。

- ◆ POP接続される場合の設定情報

	SSLを使用する場合	STARTTLSを使用する場合	保護なしで使用する場合
受信サーバー：ポート番号	995※推奨		110
受信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
受信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証		通常のパスワード認証
送信サーバー：ポート番号	465※推奨		587
送信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
送信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証※推奨		通常のパスワード認証

- ◆ IMAP接続される場合の設定情報

	SSLを使用する場合	STARTTLSを使用する場合	保護なしで使用する場合
受信サーバー：ポート番号	993※推奨		143
受信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
受信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証		通常のパスワード認証
送信サーバー：ポート番号	465※推奨		587
送信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
送信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証※推奨		通常のパスワード認証

### 3-1-2. Web メールのご利用について

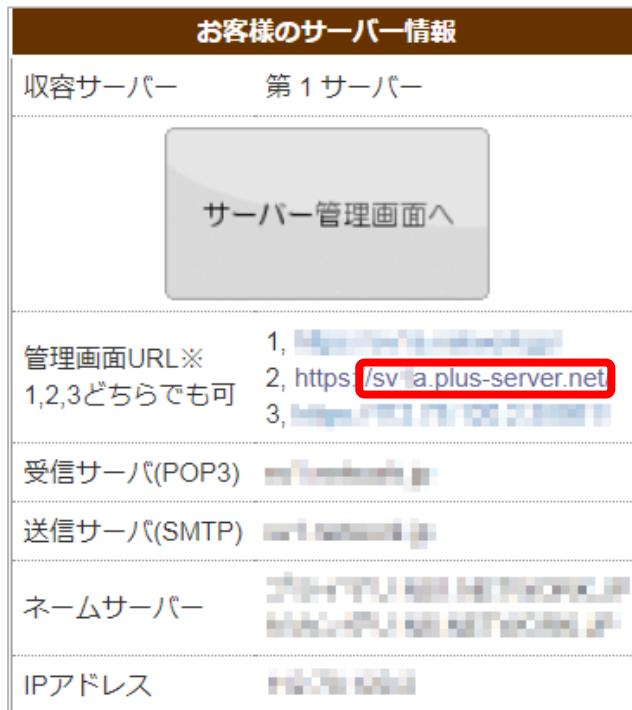
DNS 切り替えを行われてから数時間は、新旧サーバーのどちらに接続されるか不明確なプロパゲーション期間が発生いたします。DNS レコード情報を更新した際に必要となる伝播期間となりますが、この期間はメールが新サーバーと旧サーバーのどちらにメールが届くかが不明確となります。

インターネットの仕様上、回避ができないものとなります。お客様の貴重なメールの取りこぼしを防ぐためには、以下 2 つの方法がございます。

1. 一時的に Web メールも併用し、新旧サーバーそれぞれに個別に届いたメールも確認する
2. 新旧サーバーそれぞれのサーバーのサーバー名にて、メールソフトに新旧 2 つのアカウントを設定する

旧サーバーのホスト名につきましては以下の手順で確認ができます。

- ① お客様管理画面（ユーザーサポートページ）へログイン
- ② 「お客様のサーバー情報」 > 管理画面 URL > 2. https://\*\*a.plus-server.net/ の  
a を除いた、sv○○.plus-server.net がホスト名となります。



上記のうち **[2]** の手順につきまして、お客様にお手数をおかけしてしまうため、**[1]** のように一時的に新旧サーバー共に Web メールをご利用いただき、メールの取りこぼしがないかのご確認をいただくことをおすすめいたします。

---

#### ◆ プラスアルファ 旧サーバーで Web メールの利用設定をされていたお客さま

Web メールを確認するには、旧サーバーより Web メールへのアクセスください。アクセス手順は以下となります。

- ① 旧サーバーの「サーバー管理画面」へログイン
- ② 「該当ドメイン」をクリック
- ③ 「メール管理画面」をクリック
- ④ ウェブメールの「SquirrelMail」もしくは「Roundcube」の「IN」をクリック

#### ◆ ギガサーバー 旧サーバーで Web メールの利用設定をされていたお客さま

- ① 旧サーバーの「サーバー管理画面」へログイン
- ② 「ドメイン選択」のプルダウンより該当ドメインを選択
- ③ 左側メニューの「ウェブメール」をクリック
- ④ 該当メールアドレスの右側の「ログイン」をクリック

### 3-1-3. IMAP でのご利用について

IMAP 形式のアカウント（または Web メール）でメールを利用されている場合、メールデータは、サーバー内のメールボック  
ス上にしか存在しません。

そのため、IMAP 形式のアカウント（または Web メール）でメールを利用されているお客様におかれましては、  
**旧サーバー停止時にメールデータが削除され、メールソフト内でも送受信済みのメールの閲覧ができなくなります。**

**メール閲覧ができないなる回避策として、DNS 切り替え前に「POP 形式のアカウント」を  
別途設定し、お客様の PC 上にメールデータを保存していただくことを推奨いたします。**

※保存手順につきましてはメールソフトごとに異なりますため、別途ご確認ください。

なお、メールソフトのご設定方法：『[3-2. メールソフトの設定](#)』をご参照ください。

## 3-2. メールソフトの設定

お客様が作成されたメールアドレスは、PC やモバイルなどのメールソフトに設定してご利用になれます。  
代表的なメールソフトの設定方法や確認方法につきましては別ガイドをご用意しておりますので、ご確認ください。  
なお、こちらのガイドに記載がないメールソフトの設定方法につきまして、WADAX サポートサイトもあわせて  
ご確認いただきますようよろしくお願ひいたします。

- ◆ [Microsoft Outlook2013](#)
- ◆ [Microsoft Outlook2016](#)
- ◆ [Mozilla Thunderbird](#)
- ◆ [Windows10 メールアプリ](#)
- ◆ [Apple\( Mac \)Mail](#)
- ◆ [Gmail \(PC 版\)](#)

※Microsoft 「Windows Live Mail」をはじめとする、一部のメールソフトでは、新サーバーの「STARTTLS」暗号化方式に  
対応しておりませんため、新サーバーから「587/STARTTLS」でのメール送信が行えません。あらかじめご了承ください。

### WADAX よくある質問 [共通] 各種メールソフトへの設定

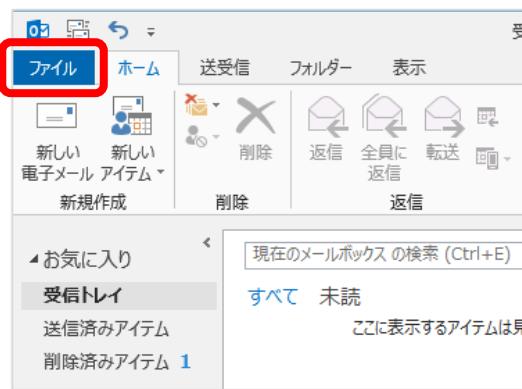
<https://faq.wadax.ne.jp/s/article/1487>

---

# Microsoft Outlook2013

## Microsoft Outlook2013

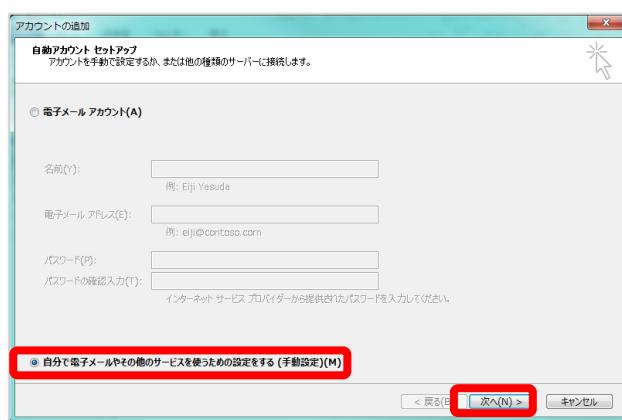
- STEP1. Outlook を起動します。
- STEP2. 上部メニューの [ファイル] をクリックします。



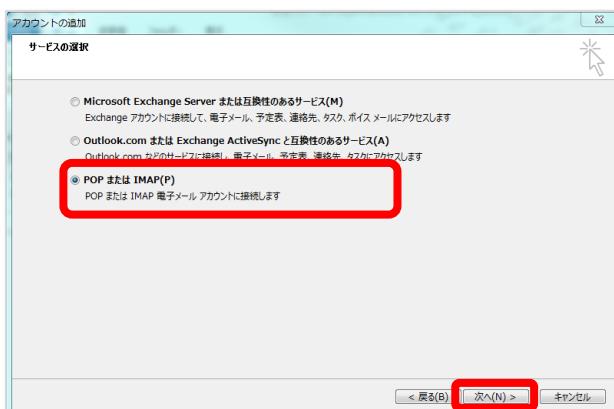
- STEP3. [情報] > [+アカウントを追加] をクリックします。



- STEP4. [自動アカウントセットアップ] > [自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)] を選択して [次へ] をクリックします。



- STEP5. [サービスの選択] > [POP または IMAP] を選択して [次へ] をクリックします。



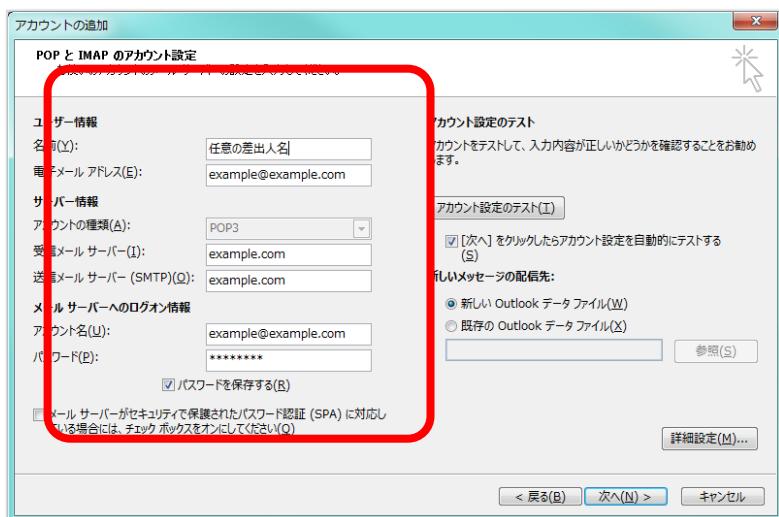
■ **STEP6.** [POP と IMAP のアカウント設定] のウィンドウでメール設定に必要な情報を入力します。

● ユーザー情報

名前	差出人名として相手に表示させる名前
電子メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス

● サーバー情報

**POP 接続される場合**



アカウントの種類	POP3
受信メールサーバー	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。
送信メールサーバー (SMTP)	受信メールサーバーと同じです。

**IMAP 接続される場合**

アカウントの種類	IMAP
受信メールサーバー	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。
送信メールサーバー (SMTP)	受信メールサーバーと同じです。

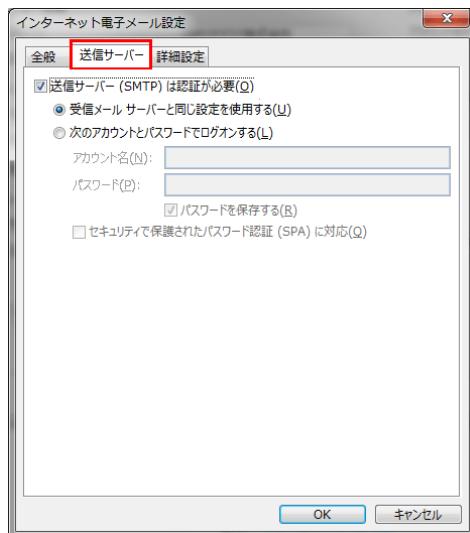
● メールサーバーへのログオン情報

アカウント名	お客様のドメイン名のメールアドレス
パスワード	弊社より新しく発行したパスワード

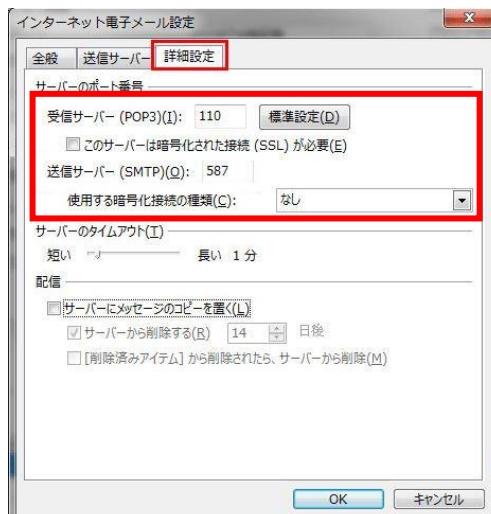
上記の情報が入力完了したら **STEP 7** に進みます。

■ **STEP7.** 上記の情報が入力完了したら、【詳細設定】をクリックします。

【送信サーバー】タブ > 「送信サーバー（SMTP）は認証」が必要にチェックと、「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」を選択します。



■ **STEP8.** 【詳細設定】タブ内 > 「受信サーバー」と「送信サーバー」のポート番号を入力します。POP接続とIMAPでポート番号が異なりますので、以下の表を参考に入力をします。



- サーバーのポート番号

**POP 接続される場合の設定**

	SSL を使用する場合	STARTTLS を使用する場合	保護なしで使用する場合
受信サーバー：ポート番号	995※推奨		110
受信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
受信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証		通常のパスワード認証
送信サーバー：ポート番号	465※推奨		587
送信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
送信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証※推奨		通常のパスワード認証

**IMAP 接続される場合の設定**

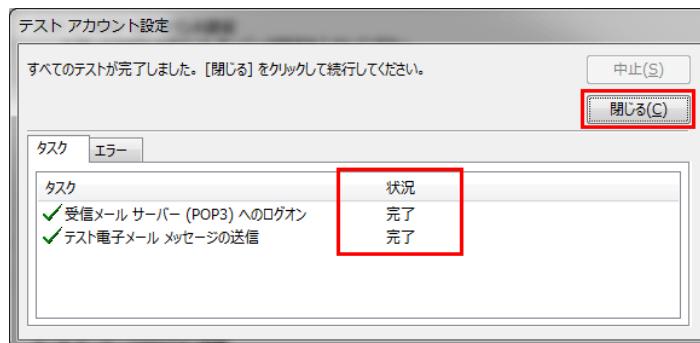
	SSL を使用する場合	STARTTLS を使用する場合	保護なしで使用する場合
受信サーバー：ポート番号	993※推奨		143
受信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
受信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証		通常のパスワード認証
送信サーバー：ポート番号	465※推奨		587
送信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
送信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証※推奨		通常のパスワード認証

- 配置

サーバーにメッセージコピーを置く	チェックを入れると受信後もサーバーに残り、Web メールでの確認や、他の PC での受信も可能となりますがサーバー容量が上限に達して受信できなくなる場合がございます。
サーバーから削除する [ ] 日後	上記にてチェックが入っている場合、サーバーから削除する日数を指定できます。
[削除済みアイテム]から削除されたら、 サーバーから削除	こちらにチェックが入っていないと受信メールを削除した後もサーバー内に残り続けて容量を圧迫しますので、コピーを置くにチェックを入れた場合には、こちらにもチェックを入れることを推奨いたします。

- **STEP9.**入力後、[OK] をクリックします。「アカウントの追加」の画面に戻るので [次へ] をクリックします。

- **STEP10.**自動的にテストメールの送受信が開始されます。設定が完了している場合、【状況】が「完了」と表示されるので【閉じる】をクリックします。



- **STEP11.**【完了】をクリックします。設定したメールアドレスが作成されていることが確認できます。

### 設定が完了できない場合

STEP.10 の手順にて「完了」とならずに下記の画面ができる場合には、ユーザー名かパスワードが異なっている可能性があります。正しい情報を入力 > 【OK】をクリックしても繰り返し画面ができる場合にはいったん【キャンセル】をクリックします。



「失敗」となった場合には、【閉じる】をクリックすると「アカウントの設定」画面に戻ります。各設定項目の入力が間違えていないかご確認ください。

項目	チェックポイント
アカウント名	電子メールアドレスになっているか。
パスワード	新しく発行されたパスワードで設定されているか。
受信メールサーバー	***.wadax.ne.jp になっているか。
送信メールサーバー	***.wadax.ne.jp になっているか。

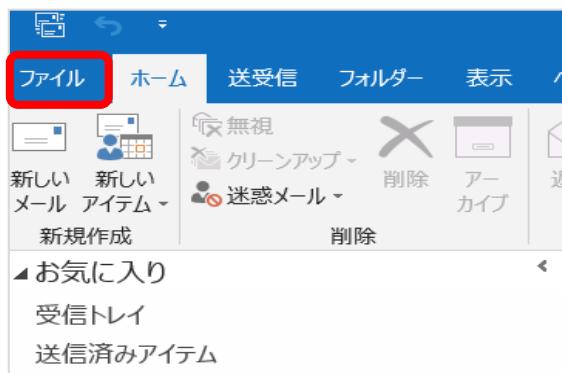
※受信、送信メールサーバーの「\*\*\*」はお客様によって異なります。

---

# Microsoft Outlook2016

## Microsoft Outlook2016

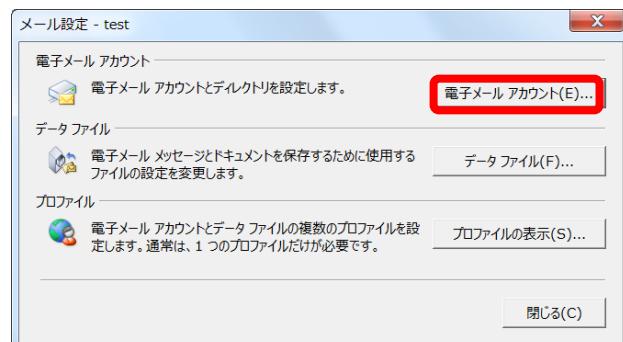
- STEP1. Outlook を起動します。
- STEP2. 上部メニューの [ファイル] をクリックします。



- STEP3. 「情報」 > 「アカウント設定」 > 「プロファイルの管理」をクリックします。



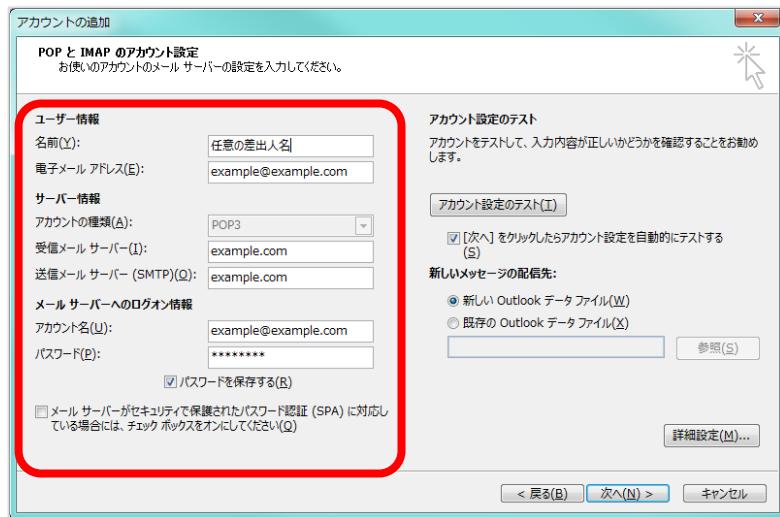
- STEP4. 「電子メールアカウント」をクリックします。



- STEP5. 「新規 (N)」をクリックします。



■ **STEP6.** [POP と IMAP のアカウント設定] のウィンドウでメール設定に必要な情報を入力します。



● ユーザー情報

名前	差出人名として相手に表示させる名前
電子メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス

● サーバー情報

**POP 接続される場合**

アカウントの種類	POP3
受信メールサーバー	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。
送信メールサーバー (SMTP)	受信メールサーバーと同じです。

**IMAP 接続される場合**

アカウントの種類	IMAP
受信メールサーバー	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。
送信メールサーバー (SMTP)	受信メールサーバーと同じです。

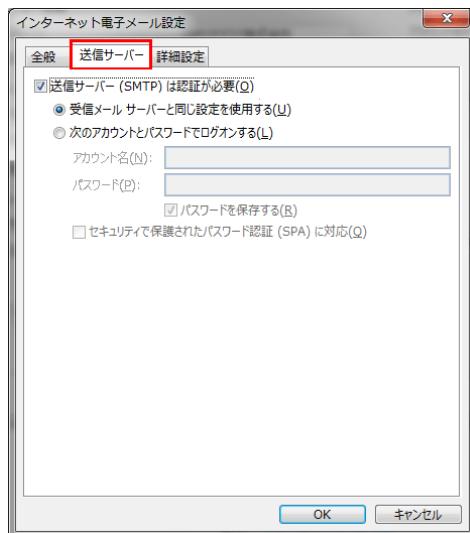
● メールサーバーへのログオン情報

アカウント名	お客様のドメイン名のメールアドレス
パスワード	弊社より新しく発行したパスワード

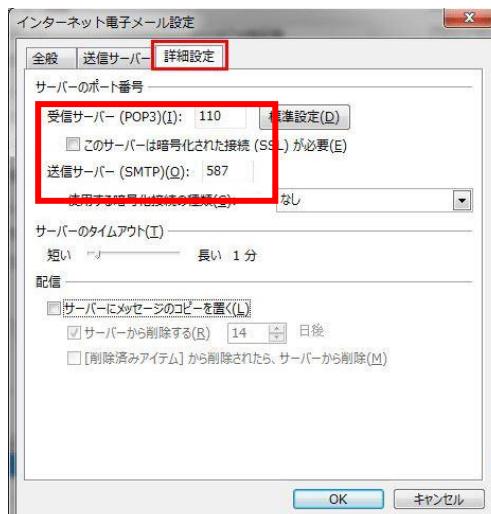
上記の情報が入力完了したら **STEP 7** に進みます。

■ **STEP7.** 上記の情報が入力完了したら、【詳細設定】をクリックします。

【送信サーバー】タブ > 「送信サーバー（SMTP）は認証」が必要にチェックと、「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」を選択します。



■ **STEP8.** 【詳細設定】タブ内 > 「受信サーバー」と「送信サーバー」のポート番号を入力します。POP接続とIMAPでポート番号が異なりますので、以下の表を参考に入力をします。



● サーバーのポート番号

**POP 接続される場合の設定**

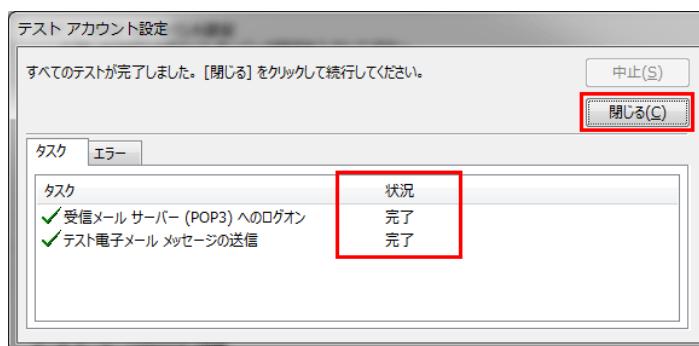
	SSL を使用する場合	STARTTLS を使用する場合	保護なしで使用する場合
受信サーバー：ポート番号	995※推奨		110
受信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
受信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証		通常のパスワード認証
送信サーバー：ポート番号	465※推奨		587
送信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
送信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証※推奨		通常のパスワード認証

## IMAP 接続される場合の設定

	SSL を使用する場合	STARTTLS を使用する場合	保護なしで使用する場合
受信サーバー：ポート番号	993※推奨		143
受信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
受信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証		通常のパスワード認証
送信サーバー：ポート番号	465※推奨		587
送信サーバー：SSL	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
送信サーバー：認証方式	暗号化されたパスワード認証※推奨		通常のパスワード認証

サーバーにメッセージコピーを置く	チェックを入れると受信後もサーバーに残り、Web メールでの確認や、他の PC での受信も可能となりますがサーバー容量が上限に達して受信できなくなる場合がございます。
サーバーから削除する [ ] 日後	上記にてチェックが入っている場合、サーバーから削除する日数を指定できます。
[削除済みアイテム]から削除されたら、 サーバーから削除	こちらにチェックが入っていないと受信メールを削除した後もサーバー内に残り続けて容量を圧迫しますので、コピーを置くにチェックを入れた場合には、こちらにもチェックを入れることを推奨いたします。

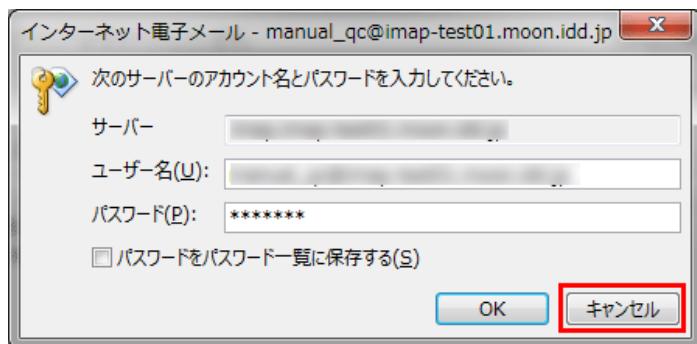
- **STEP9.**入力後、[OK] をクリックします。「アカウントの追加」の画面に戻るので [次へ] をクリックします。
- **STEP10.**自動的にテストメールの送受信が開始されます。設定が完了している場合、[状況] が「完了」と表示されるので [閉じる] をクリックします。



- **STEP12.** [完了] をクリックします。設定したメールアドレスが作成されていることが確認できます。

## 設定が完了できない場合

STEP10 の手順にて「完了」とならず下記の画面ができる場合には、ユーザー名かパスワードが異なっている可能性があります。正しい情報を入力 > [OK] をクリックしても繰り返し画面ができる場合にはいったん [キャンセル] をクリックします。



「失敗」となった場合には、[閉じる] をクリックすると「アカウントの設定」画面に戻ります。各設定項目の入力が間違えていないかご確認ください。

項目	チェックポイント
アカウント名	電子メールアドレスになっているか。
パスワード	新しく発行されたパスワードで設定されているか。
受信メールサーバー	***.wadax.ne.jp になっているか。
送信メールサーバー	***.wadax.ne.jp になっているか。

※受信、送信メールサーバーの「\*\*\*」はお客様によって異なります。

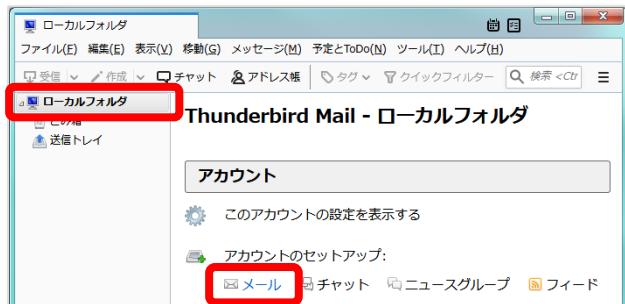
---

# Mozilla Thunderbird

## Mozilla Thunderbird

※本手順はThunderbird 68.x.x のバージョンでご案内しております。Thunderbird 78.x.x については[こちら](#)をご参照ください。

- **STEP1.** Thunderbird を起動します。
- **STEP2.** ローカルフォルダ内の [アカウントのセットアップ] > [メール] をクリックします。



- **STEP3.** [既存メールアカウントのセットアップ] ウィンドウで、メール設定に必要な情報を入力して [続ける] をクリックします。



あなたのお名前	差出人名として相手に表示させる名前
メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	弊社より新しく発行したパスワード

- **STEP4.** Thunderbird がメールプロバイダーなどの検索をかける間に [手動設定] をクリックします。



■ STEP5. 手動設定フォームでサーバー情報の設定を行います。

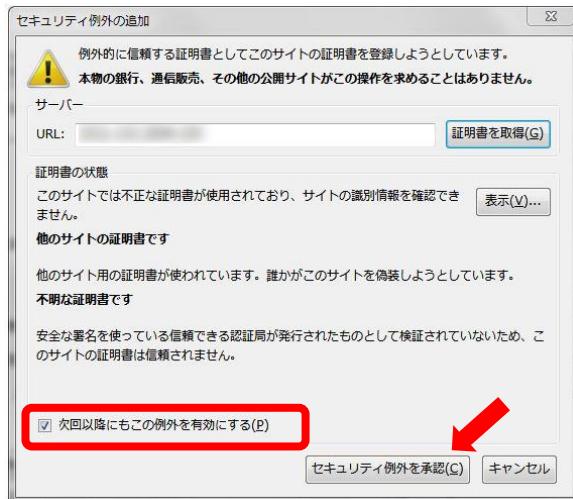
**POP 接続される場合の設定**

<b>受信メールサーバー</b>		***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。	
<b>送信メールサーバー (SMTP)</b>		受信メールサーバーと同じです。	
	<b>SSL を使用する場合</b>	<b>STARTTLS を使用する場合</b>	<b>保護なしで使用する場合</b>
<b>受信サーバー：ポート番号</b>	995※推奨		110
<b>受信サーバー：SSL</b>	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
<b>受信サーバー：認証方式</b>	暗号化されたパスワード認証		通常のパスワード認証
<b>送信サーバー：ポート番号</b>	465※推奨	587	
<b>送信サーバー：SSL</b>	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
<b>送信サーバー：認証方式</b>	暗号化されたパスワード認証※推奨		通常のパスワード認証

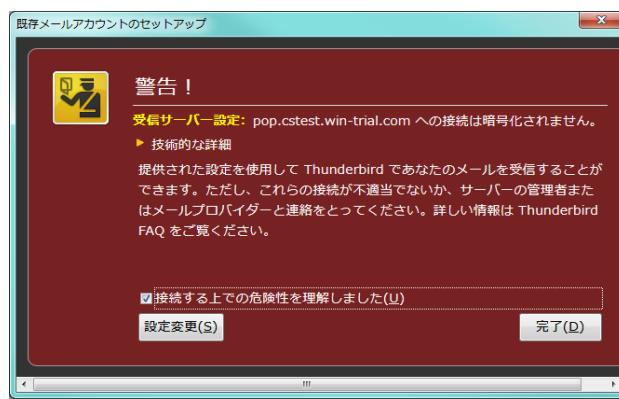
**IMAP 接続される場合の設定**

<b>受信メールサーバー</b>		***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。	
<b>送信メールサーバー (SMTP)</b>		受信メールサーバーと同じです。	
	<b>SSL を使用する場合</b>	<b>STARTTLS を使用する場合</b>	<b>保護なしで使用する場合</b>
<b>受信サーバー：ポート番号</b>	993※推奨		143
<b>受信サーバー：SSL</b>	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
<b>受信サーバー：認証方式</b>	暗号化されたパスワード認証		通常のパスワード認証
<b>送信サーバー：ポート番号</b>	465※推奨	587	
<b>送信サーバー：SSL</b>	SSL/TLS※推奨	STARTTLS	接続の保護なし
<b>送信サーバー：認証方式</b>	暗号化されたパスワード認証※推奨		通常のパスワード認証

- **STEP6.**上記の情報まで入力を完了したら【完了】をクリックします。
- **STEP7.**STEP 5のSSL 設定で「SSL/TLS」または「STARTTLS」を選択した場合、セキュリティ証明書に関する警告が表示されますので、「**セキュリティ例外を承認**」をクリックします。  
※サーバーの証明書のドメイン名とご利用メールアドレスのドメイン名が異なるため、警告が表示されます。  
ご利用サーバーは共用サーバーのため証明書のドメイン名は共用でのご利用となり、問題はございません。



また Thunderbird では SSL 利用を推奨しているため、SSL の設定で「保護なし」を選択した場合は警告画面が表示されます。以下の画面が表示がされた場合、【設定変更】ボタンをクリックして、SSL の設定を「SSL/TLS」に変更して完了するか、「接続する上の危険を理解しました」にチェックを入れ、【完了】をクリックします。



- **STEP8.**Thunderbird のウィンドウにメールアドレスが表示されたら設定は完了です。



---

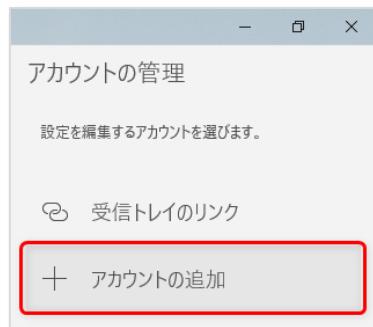
# Windows10 メールアプリ

## Windows10 メールアプリ

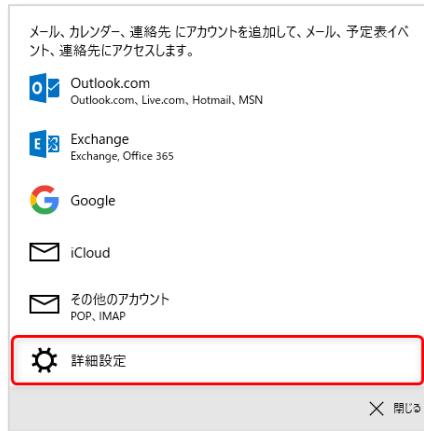
- **STEP1.** Windows10 メールアプリを起動します。
- **STEP2.** メニューの [アカウント] > [アカウントの管理] をクリックします。



- **STEP3.** 「アカウントの管理」 > 「+アカウントの追加」 をクリックします。



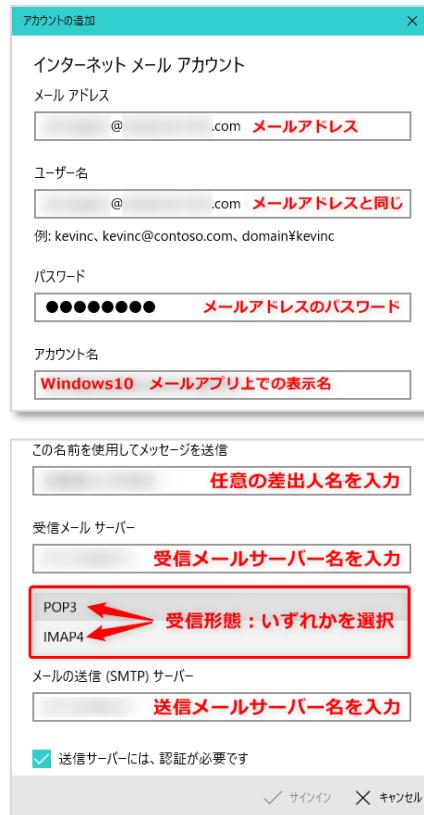
- **STEP4.** 「詳細設定」をクリックします。



- **STEP5.** 「インターネットメール」をクリックします。



■ STEP6.手動設定フォームでサーバー情報の設定を行います。



インターネットメールアカウント	
メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス
ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	新しく発行されたパスワード
アカウント名	Win10 メールアプリ上での表示名
この名前を使用してメッセージを送信	差出人名として相手に表示させる名前
受信メールサーバー	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。
POP3 / IMAP4	POP3 ※IMAP でも設定は可能です
メールの送信サーバー	受信メールサーバーと同じです。
送信サーバーには、認証が必要です (SMTP Auth)	有効
送信メールに同じユーザー名とパスワードを使用	有効
受信メールにはSSLが必要	任意
【SSL を有効にした場合】※サーバー名とポートを以下のように記載	
POP3 : お客様の受信メールサーバー名:995	
IMAP4 : お客様の受信メールサーバー名:993	
送信メールにはSSLが必要	任意
【SSL を有効にした場合】※サーバー名とポートを以下のように記載	
お客様の送信メールサーバー名:465	

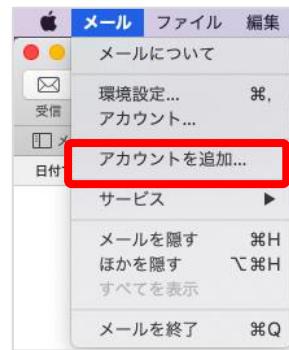
■ STEP7.すべての情報を設定後、「サインイン」をクリックして設定完了です。

---

# Apple( Mac )Mail

## Apple( Mac )Mail

- STEP1.Dock より「メール」を起動します。
- STEP2.メニューバー > メール > 「アカウントを追加」をクリックします。



- STEP3.以下のウィンドウで、「他のメールアカウント」を選択して【続ける】をクリックします。

※Mailに初めてアカウントを設定する方は、起動した時点でこのウィンドウが開きます。



- STEP4.メール設定に必要な情報を入力して【サインイン】をクリックします。



あなたのお名前	差出人名として相手に表示させる名前
メールアドレス	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	新しく発行されたパスワード

■ STEP5.メールサーバー情報を入力します。入力後、【次へ】をクリックします。

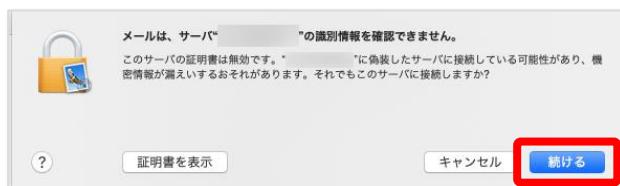


アカウントの種類	POP/IMAP
受信用メールサーバ	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネルURLのhttps://以降のドメイン名となります。
送信用メールサーバ	受信メールサーバーと同じです。

※受信用メールサーバー情報を入力すると、「ユーザ名」が空白に戻ってしまうことがあります。

アカウントの種類の選択⇒サーバー情報の入力⇒ユーザー名の入力 の順で設定を行ってください。

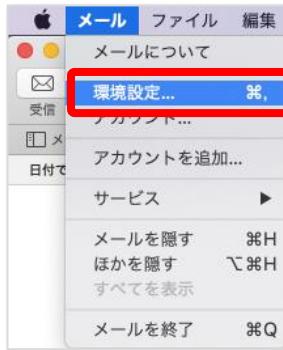
■ STEP6.独自メールアドレスを設定する際、メールソフトの仕様で「メールは、"サーバー名"の識別情報を確認できません。」の表示ができる場合がございます。この場合は【続ける】をクリックしてください。



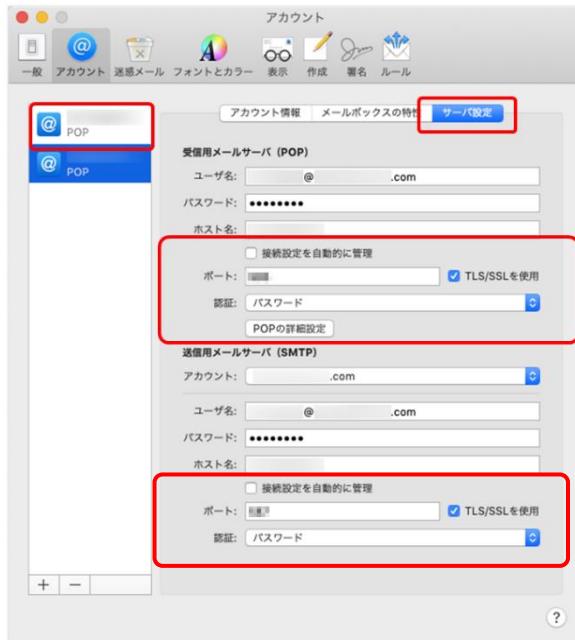
続いて、お客様のMacにログオンする際に使用されているユーザー名とパスワードを入力し、【設定をアップデート】をクリックします。



- **STEP7.** 詳細設定を行うため、メニューバー > 「メール」 > 「環境設定」 > 「アカウント」 の順にクリックします。



- **STEP8.** 設定したアカウントを選択し [サーバー設定] タブをクリックします。以下の設定を変更して [保存] をクリックします。

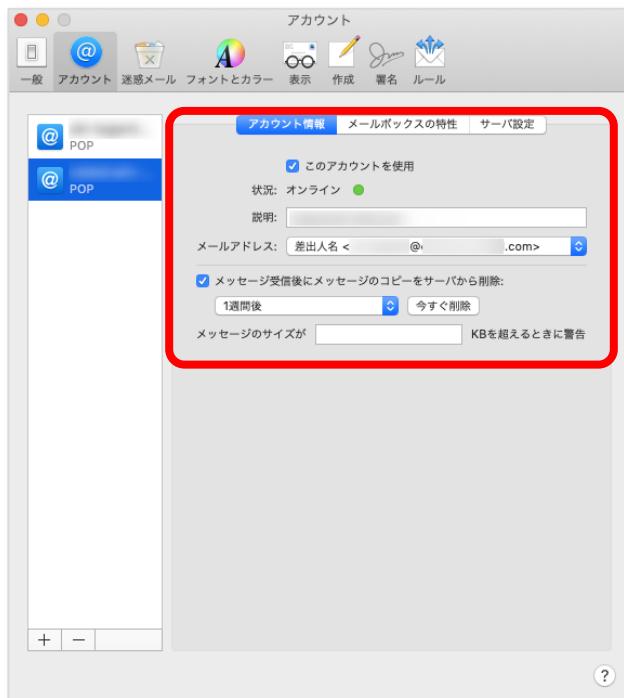


受信用メールサーバ (POP)	
接続設定を自動的に管理	<input type="checkbox"/> チェックをはずす
ポート	POP over SSL の場合 : 995 IMAP の場合 : 993
TLS/SSL を使用	<input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れる
認証	パスワード を選択
送信用メールサーバ (SMTP)	
接続設定を自動的に管理	<input type="checkbox"/> チェックをはずす
ポート	465
TLS/SSL を使用	<input checked="" type="checkbox"/> チェックを入れる
認証	パスワード を選択

以上で基本的な設定は完了です。

## ■ メールアカウント設定後の確認事項

☞ 【アカウント情報】タブで、以下の設定をご確認ください。

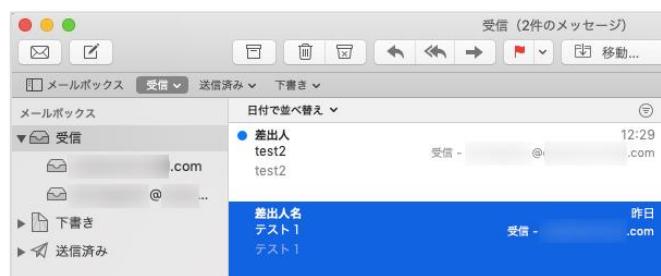


このアカウントを使用	チェックが入っている
状況	オンライン ●
メッセージを受信後にメッセージのコピーをサーバーから削除	
初期設定では、メールソフトで受信後、1週間後にサーバー内のメールが削除される設定になっています。	
共通のメールアカウントなどの場合は、チェックをはずし、メールのコピーをサーバーに残す必要があります。	

☞ 新規メッセージ作成の画面を開き、メール送受信のテストを実施してください。

宛先	お客様のメールアドレス
差出人	お客様のメールアドレス ※メールアカウントが1つしかない場合、差出人の選択項目は表示されません。

メール送受信テストを行い、以下のようにメールが受信できれば、設定はすべて完了です。



---

# Gmail (PC 版)

## Gmail (PC版)

- STEP1.Gmail ログイン後、画面右上の  アイコンをクリック > 「設定」をクリックします。



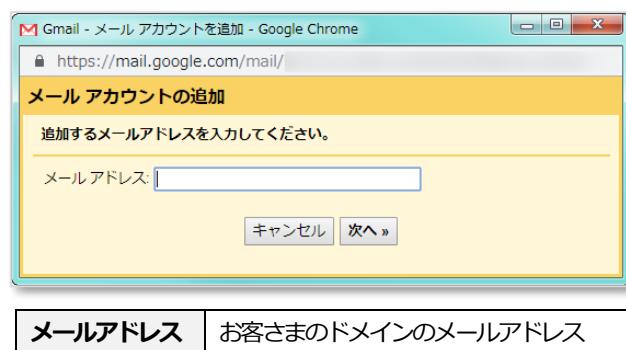
- STEP2.画面上部の「アカウントとインポート」をクリックします。



- STEP3.項目の中から「メールアカウントを追加する」をクリックします。



- STEP4.ウィンドウがポップアップで開くので「メールアドレス」にお客さまのメールアドレスを入力し  
[次へ] をクリックします。



■ STEP5. 「他のアカウントからメールを読み込む（POP3）」にチェックして [次へ] をクリックします。



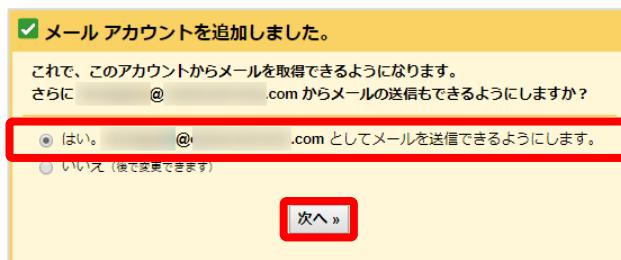
■ STEP6. メール設定画面で必要な情報を入力します。入力後、[アカウントを追加] をクリックします。



ユーザー名	お客様のドメインのメールアドレス
パスワード	新しく発行されたパスワード
POP サーバー	****.wadax.ne.jp ※「****.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネル URL の <a href="https://以降のドメイン名">https://以降のドメイン名</a> となります。
ポート	110 ※SSL 暗号ありの場合 : 995
<b>取得したメッセージのコピーをサーバーに残す</b> ※任意です。	
Gmail 内に POP3 でダウンロードしたメールのコピーをサーバーに残す場合はチェックが必要です。 複数台で利用している共用のメールアドレスなどは、こちらのチェックが必要ですのでご注意ください。	
<b>メールの取得にセキュリティで保護された接続 (SSL) を使用する</b> ※任意です。	
POP3 over SSL を使用する場合にチェックします。	
<b>受信したメッセージにラベルを付ける</b> ※任意です。	
Gmail の受信トレイなどで、お客様のドメインメールと判別がしやすいよう、件名前に自動でラベルを付けることができます。	
<b>メッセージを受信トレイに保存せずにアーカイブする</b> ※任意です。	
受信トレイには表示させず、専用の領域に保存だけしておきたいときに選択します。 アーカイブされたメールは「受信トレイ」からではなく、「すべてのメール」から読むことができます。	

■ **STEP7.** 「メールアカウントを追加しました。」と画面が表示されたら受信サーバー情報の設定完了です。

続いてメール送信の設定に進みます。「はい。●お客様のメールアドレス●としてメールを送信…」を選択して [次へ] をクリックします。

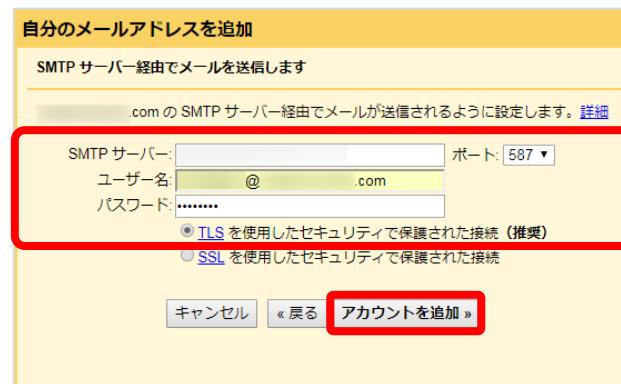


■ **STEP8.** 「名前」に差出人名として表示させる名前を入力して [次のステップ] をクリックします。



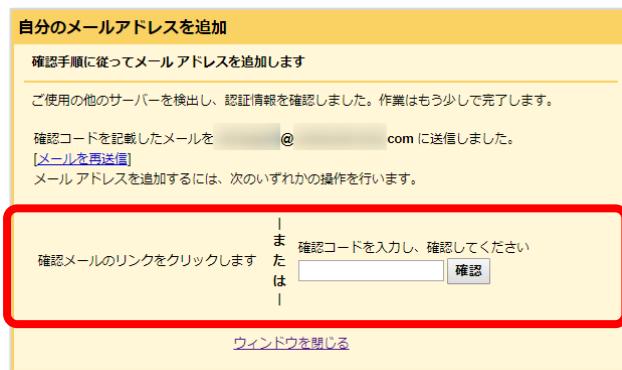
名前	差出人名を入力してください ※任意です。
メールアドレス	@マークを含め対象のメールアドレスが指定されています。

■ **STEP9.** 送信サーバーの情報を入力して [アカウントを追加] をクリックします。



SMTP サーバー	***.wadax.ne.jp ※「***.wadax.ne.jp」は、移行先のコントロールパネル URL の https://以降のドメイン名となります。
ポート	587 ※SSL 暗号化ありの場合 : 465
ユーザー名	お客様のメールアドレス
パスワード	新しく発行されたパスワード
◎ TLS を使用したセキュリティで保護された接続（推奨）にチェックを入れます。	

- **STEP10.** Gmail から、お客様のメールアドレス宛てに認証メールが送信されます。確認メール内のリンクを選択するか、確認メール内に記載されている「確認コード」を入力し、【確認】ボタンを選択してください。



- **STEP11.** 設定完了です。

### 3-3. 転送・自動応答設定の確認

転送・自動応答の設定確認は、コントロールパネルの契約から確認ができます。

#### 3-3-1. 転送の確認

- STEP1. コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。

The screenshot shows the left sidebar with 'Home', 'Hosting Services', 'Customer', 'Domain', and 'Contract'. The 'Contract' button at the bottom is highlighted with a red box. To the right, a large 'Contract' heading is displayed with a brief description of managing hosting plans through contracts.

- STEP2. 移行された契約一覧が表示されますので、移行済みのメールアカウントを確認したいドメイン名をクリックします。

The screenshot shows a list of contracts with three items. The second item, which includes 'www.wadax.jp' in the domain column, is highlighted with a red box. The top navigation bar includes buttons for 'Contract to add', 'Plan to change', 'Contractor to change', 'Status to change', and 'Delete'.

- STEP3. 上部タブから「メール」をクリックします。または メールからもご確認可能です。

The screenshot shows the 'Webspace and Domain' section with tabs for 'Webspace and Domain', 'Email' (which is highlighted with a red box), 'File', 'Database', 'Statistics', 'User', 'Account', and 'WordPress'. Below the tabs, there are buttons for 'Domain to add', 'Subdomain to add', and 'Domain Alias to add'. The main content area shows a domain 'com' marked as 'Active'.

- STEP4. 対象のメールアドレスをクリックします。

The screenshot shows the 'Email Address' list page with tabs for 'Email Address', 'Email Settings', and 'Emailing List'. It displays a list of email addresses with columns for 'User' and 'Usage'. An email address 'info@wadax.jp' is highlighted with a red box. The top navigation bar includes buttons for 'Email Address to create', 'Usage statistics to update', and 'Delete'.

- STEP5. 「転送」タブをクリックします。転送設定がされている場合は、「メール転送をオンにする」にチェックが入っており、「受信メールを次のメールアドレスに転送」に転送先のメールアドレスが表示されます。



### 3-3-1. 自動応答の確認

- STEP1. コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



- STEP2. 移行された契約一覧が表示されますので、自動応答の設定を確認したいドメイン名をクリックします。

契約	
顧客がホスティングプランを利用するには、ホスティングプランを契約する必要があります。この画面で、自社の契約とともに、これらの契約を管理することができます。契約で提供するサービス（ウェブサイトやメールなど）をクリックして契約者の顧客パネルを開いてください。	
<a href="#">+ 契約を追加</a>	<a href="#">プランを変更</a>
<a href="#">契約者を変更</a>	<a href="#">ステータスを変更</a>
<a href="#">削除</a>	
全3件	
<input type="checkbox"/> 契約	
<input checked="" type="checkbox"/> <a href="#">http://www.wadax.com</a> (契約者: 1)	1
<input type="checkbox"/> <a href="#">http://www.wadax.com</a> (契約者: 1)	1

- STEP3. 上部タブから「メール」をクリックします。または [メール](#) からもご確認可能です。



#### ■ STEP4. 対象のメールアドレスをクリックします。

The screenshot shows a list of email addresses. One specific address, 'test@example.com', is highlighted with a red rectangle. The interface includes navigation tabs like 'Mail Address', 'Mail Settings', and 'Mailing List'. It also features buttons for 'Create Mail Address', 'Update Usage Statistics', and 'Delete'. A search bar is at the top right. Below the list, there's a summary of usage: '100 MB 中、0 B 使用'.

#### ■ STEP5. 「自動応答」タブをクリックします。自動応答が設定されている場合は、「自動応答をオンにする」にチェックが入っており、「自動応答メールの件名」などの情報が表示されます。

This screenshot shows the 'Automatic Response' configuration dialog. The 'Automatic Response' tab is selected and highlighted with a red rectangle. Under this tab, the 'Enable automatic response' checkbox is checked. Other visible fields include 'Subject' (Re: <request\_subject>), 'Message Format' (set to 'Text'), 'Encoding' (UTF-8), and 'Delivery Destination' (a large text area). At the bottom, there are buttons for 'OK', 'Apply', and 'Cancel'.

### 3-4. Webメールについて

新サーバーのWebメールは、『Roundcube』のみとなります。旧サーバーで利用してWebメール『Roundcube』『SquirrelMail』のデータは移行されていませんので、ご注意ください。

#### 3-4-1. Roundcubeご利用手順

- ◆ Webメールへ管理者アカウントでログインする方法 (DNS切り替え後)
- STEP1.コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



The screenshot shows the left sidebar of the control panel with several menu items: ホーム, ホスティングサービス, 顧客, ドメイン, and 契約. The '契約' item is highlighted with a red box. To the right, a '契約' (Contract) page is displayed with a heading '顧客がホスティングプランを利用するには、ホスティング契約とともに、これらの契約を管理することができます。' and several buttons: 契約を追加, プランを変更, and others.

- STEP2.移行された契約一覧が表示されますので、Webメールの設定を確認したいドメイン名をクリックします。



The screenshot shows a list of contracts with three entries. The first entry, 'www.wadax.com.jp', has a green checkmark and is highlighted with a red box. The other two entries also have green checkmarks. The page includes a header with buttons for '契約を追加', 'プランを変更', '契約者を変更', 'ステータスを変更', and '削除'. Below the header is a table with columns for '契約' (Contract), '契約者' (Contractor), and '状況' (Status).

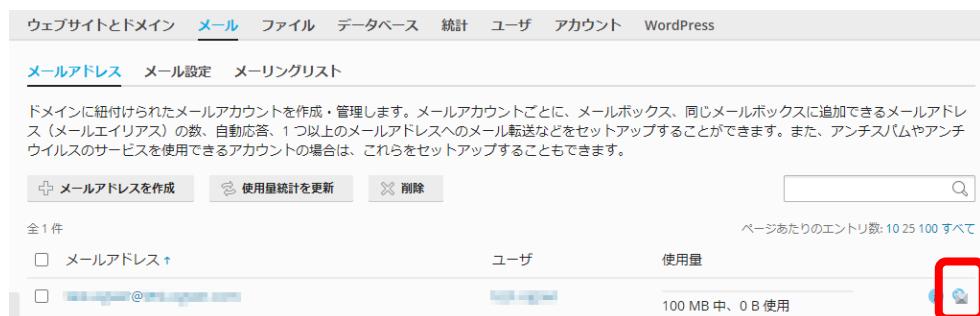
契約	契約者	状況
www.wadax.com.jp	1	
www.wadax.com.jp	1	

- STEP3.上部タブから「メール」をクリックします。または  メール からもご確認可能です。



The screenshot shows the 'Webspace and Domains' section with a 'com' domain selected. The top navigation bar has tabs for 'メール' (Email), 'ファイル', 'データベース', '統計', 'ユーザ', 'アカウント', and 'WordPress'. The 'メール' tab is highlighted with a red box. Below the tabs, there's a summary for the 'com' domain and links for 'File Manager', 'Email', 'Database', and 'WordPress'.

- STEP4.該当メールアドレス右側にあるウェブメールアイコンをクリックします。



The screenshot shows the 'Email Addresses' list page. The top navigation bar has tabs for 'メール' (Email), 'ファイル', 'データベース', '統計', 'ユーザ', 'アカウント', and 'WordPress'. The 'メール' tab is highlighted with a red box. Below the tabs, there's a table with columns for 'メールアドレス' (Email Address), 'メール設定' (Email Settings), and 'メーリングリスト' (Mailing List). The 'メールアドレス' column lists 'wadax@wadax.com'. The 'Edit' icon (pencil) next to the first email address is highlighted with a red box.

- **STEP5.**Roundcube のログイン画面が表示されますので、メールアドレスとパスワードを入力してログインします。

※表示された URL をブラウザのお気に入り等に登録しておくと、次回から上記の手順を省略できます。



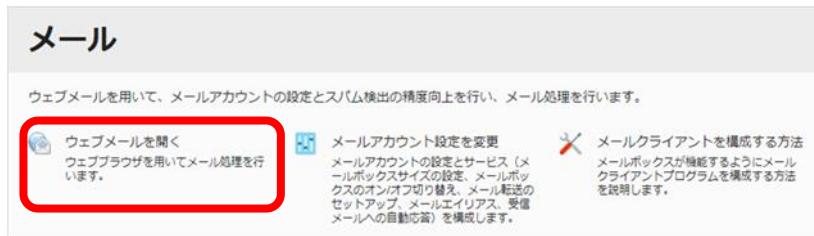
- **STEP6.**『Roundcube』が立ち上がりご利用いただける状態になります。

#### ◆ Web メールへ個人アカウントでログインする方法 (DNS 切り替え後)

- **STEP1.**個人アカウント（メールアドレスとパスワード）でコントロールパネルにログインします。

コントロールパネルの URL は [https://\(移行先サーバー\).wadax.ne.jp:8443](https://(移行先サーバー).wadax.ne.jp:8443) です。

- **STEP2.**「ウェブメールを開く」をクリックします。



- **STEP3.**Roundcube のログイン画面が表示されますので、メールアドレスとパスワードを入力してログインします。

※表示された URL をブラウザのお気に入り等に登録しておくと、次回から上記の手順を省略できます。



- **STEP4.**『Roundcube』が立ち上がりご利用いただける状態になります。

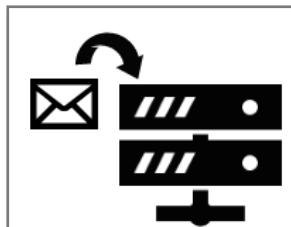
### 3-5. メールの内部配達について

#### ■ 内部配達とは

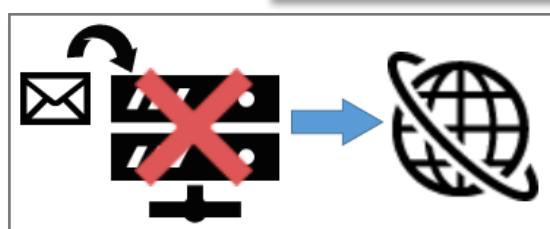
メール配達が、DNS サーバーへの問い合わせを行わずに、自サーバー内に配達されることを、『**内部配達**』と言います。

メール配達については、どのようなサーバーであっても、一般的には、以下の順序で行われております。

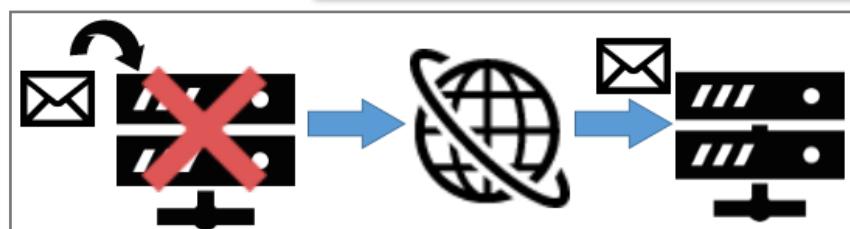
- ① まず、送信先のドメイン名が、同じサーバー内に存在しないかを確認します。



- ② 同じサーバー内に送信先のドメイン名が見つからなければ、DNS サーバーに、ドメイン名の問い合わせを行います。



- ③ DNS サーバーから返ってきたドメイン名の接続先サーバーにメールを配達します。



上記のように、メール送信の際には、送り先ドメイン名を DNS サーバーへ問い合わせる前に、自サーバー内にそのドメイン名が存在していないかどうかを確認しています。

ここで、自サーバー内に、該当ドメイン名があれば、DNS サーバーへの問い合わせを行わずにメールの

**「内部配達」**が行われます。

通常、メールを送信した場合、新サーバーが発行されていても、DNS 切り替えを行わなければ、旧サーバーにしか届かず、DNS 切り替えを行えば、新サーバーにしか届かなくなるはずです。

しかし、**「内部配達」の条件がそろうと、DNS 切り替え前に新サーバーにメールが配達されたり、DNS 切り替え後に、移行前の旧サーバーにメール配達される事象が発生したりします。**

#### ■ 内部配達の対策

新サーバーの領域作成のご案内メールが届いた後、お使いのメールソフトで届かないメールがある場合には、[新サーバーの Web メールへログイン](#)し、メールが届いていないかをご確認くださいますようお願いいたします。

### 3-6. メーリングリストについて

メーリングリストはデータ移行済みですが、新しい管理画面の仕様でメーリングリスト名の管理方法が特殊な状態となっておりますのでご注意ください。

収容先サーバー上にメーリングリストの@マーク前は1つしか登録できません。そのため、登録済みのメーリングリスト名がすべて移行されるように、以下の設定をしております。

例) メーリングリスト名が「sales@example.com」の場合

メーリングリスト名-ドメイン名@ドメイン名 (sales-example-com@example.com) に変換をおこない、赤枠のメールアドレスに登録しています。

さらに「sales@example.com」に転送されるよう、転送専用アカウントとして「sales@example.com」を設定（青枠）。転送先には「sales-example-com@example.com」を設定しています。

このようにすることで、今までご利用いただいているメーリングリストがご利用できるようになっております。

The screenshot shows the WADAX management interface. On the left, there's a sidebar with various menu items like '契約' (Contracts), 'サービスプラン' (Service Plans), 'ツールとユーティリティ' (Tools and Utilities), 'WordPress', and 'phpPgAdmin'. The main area is titled 'mail.wadax.com' and has tabs for 'ウェブサイトとドメイン' (Website and Domain), 'メール' (Mail), 'ファイル' (File), 'データベース' (Database), '統計' (Statistics), 'ユーザ' (User), 'アカウント' (Account), and 'WordPress'. The 'メール' tab is selected. Below it, there are buttons for '+ メールアドレスを作成' (Create new email address), '使用量統計を更新' (Update usage statistics), and '削除' (Delete). A red box highlights a list item in the main content area. To the right, a blue box highlights a specific email address: 'sales@example.com (転送先)'.

---

# Web

## 4. Web コンテンツの移行について

### 3-1. Webコンテンツの移行範囲とご注意点

お客様の移行予定日<sup>1</sup>に、弊社にて各種データの移行を実施いたします。弊社にてデータ移行を実施する対象は、以下のとおりです。

- httpdocs 以下に収容されている Web コンテンツデータ
- Web コンテンツに接続されているデータベース

新サーバー移行後に、お客様が旧サーバー側で Web コンテンツ更新を行われますと、データ差分が発生します。

その場合、差分データを新サーバーへアップロードする作業は、お客様にて実施していただく必要がございます。

あらかじめご了承ください。

データのアップロード方法につきましては、『[3-2. ファイルマネージャでのデータ確認方法](#)』をご参照ください。

### 4-2. ファイルマネージャでのデータ確認方法

コントロールパネルの「ファイルマネージャ」から、移行済みファイルを確認できます。

- STEP1. コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



- STEP2. 移行された契約一覧が表示されますので、ドメイン名をクリックします。

A screenshot of a 'Contract' list page. At the top, there are buttons for '契約を追加', 'プランを変更', '契約者を変更', 'ステータスを変更', and '削除'. Below that is a table with three rows. The first row has a checkbox and a link labeled '契約↑' with a green checkmark. The second row has a checkbox and a link labeled '契約↑' with a green checkmark. The third row has a checkbox and a link labeled '契約↑' with a green checkmark. A red box highlights the first row's link. The table also has columns for '契約者' (with value '1') and 'ステータス' (with value '1').

■ STEP3.上部タブの「ファイル」をクリックします。



■ STEP4.ファイルマネージャーが開きます。Webコンテンツデータは **/ドメイン名** ディレクトリ配下に移行されています。

①	ディレクトリリスト	ホームディレクトリ配下に設置されているディレクトリをツリー型で確認できます。
②	ファイル・ディレクトリ操作	ファイルのアップロード矢、複数ファイル・ディレクトリの一括操作などが行えます。
③	ファイル検索	Web サーバー上のファイルを検索することができます。
④	ファイル編集・パーミッション変更	単一のファイルやディレクトリに対しての編集・パーミッション変更などの操作が行えます。

**/htdocs** ディレクトリ、**/ドメイン名** ディレクトリ自体を削除されると、  
 不具合が発生いたしますので、削除しないでください。

## 4-2-1. ファイルマネージャの機能について

ファイルマネージャの各項目についてご案内します。項目によっては+や-をクリックします。

The screenshot shows the 'File Manager' interface with the 'Upload' section highlighted by a red box. The menu bar includes 'File', 'Database', 'Statistics', 'User', 'Account', 'WordPress', and a search bar. Below the menu are buttons for '+', 'Copy', 'Move', 'Archive', 'Other', and 'Delete'. The main area shows a file tree with 'httpdocs' and 'logs' nodes. To the right is a list of files with columns for 'Last modified', 'Size', 'Permissions', 'User', and 'Group'. The first few entries are: 2021/01/10 00:00, rwx r-x r-x, psacln; 2021/01/4 16:36, rwx r-x r-x, psacln; 2021/01/27 21:35, rwx r-x ---, psaserv; 2021/02/7 03:27, rwx --- ---, root.

アップロード	お客様のパソコンに保存されたファイルをアップロードできます。
ファイルを作成	サーバー内に、新しいディレクトリやファイルを作成できます。
ディレクトリを作成	作成したディレクトリ名・ファイル名の変更や、ファイルの編集も可能です。

The screenshot shows the 'File Manager' interface with the 'Copy' and 'Move' buttons highlighted by a red box. The menu bar and file tree are the same as the previous screenshot. The right panel shows the same list of files as before.

コピー	任意のディレクトリやファイルをコピーすることができます。
移動	任意のディレクトリやファイルを移動することができます。

The screenshot shows the 'File Manager' interface with the 'Archive' button highlighted by a red box. The menu bar and file tree are the same as the previous screenshots. The right panel shows the same list of files as before.

アーカイブ > ファイルを展開	選択したアーカイブから現在のディレクトリーにファイルを展開します。
アーカイブ > アーカイブに追加	選択したファイルをアーカイブに追加します。

The screenshot shows the 'File Manager' interface with the 'Other' button highlighted by a red box. The menu bar and file tree are the same as the previous screenshots. The right panel shows the same list of files as before.

その他 > サイズ計算	選択したディレクトリのサイズ計算やタイムスタンプの変更を行えます。
その他 > タイムスタンプを変更	
削除	選択したファイルを削除します。(複数選択可)

## 4-3. FTPアカウント情報について

新サーバーで利用するFTPアカウントは移行されないため、**新しいFTPアカウントとパスワードが発行**されます。

新しいFTPアカウントとパスワードでFTP接続ソフト等の設定変更をお願いいたします。

なお、FTP接続ソフト等でFTP接続を行っていた場合、接続先サーバー名がドメイン名だった場合、DNS切り替え前は旧サーバーに接続し、DNS切り替え後は新サーバーに接続することになります。

DNS切り替え前に新サーバーにFTP接続したい場合は、[新サーバーのホスト名（\\*\\*\\*.wadax.ne.jp）をご利用ください。](#)

### 4-3-1. FTPアカウント情報の確認

新しいFTPアカウント情報につきましては[2.各種パスワードについて](#)をご確認ください。

FTP接続に必要な情報は、以下のとおりです。

FTPアカウント名	設定されたユーザー名のみ
FTPサーバー名	ドメイン名 DNS切り替え前に新サーバーに接続する場合は、 <a href="#">新サーバーのホスト名（***.wadax.ne.jp）をご利用ください。</a>
FTPパスワード	新パスワード migration_new_account.txtに記載されているパスワードをご利用ください。
サーバーディレクトリ	例) /httpdocs ※/public_htmlで設置されている場合はご変更ください。

新旧サーバーで、パスワード情報はリンクしておりませんので、ご注意ください。

なお、旧サーバーの設定で、「サーバーの初期ディレクトリ」を「/httpdocs」で設定されていた場合、

[新サーバーのディレクトリ構成の違い](#)により、接続ができない場合がございます。「情報に誤りがないのに接続できない」といった場合は、あわせてFTPソフトの接続設定の詳細から、サーバー側のディレクトリ設定をご確認ください。

## 4-3-2. 絶対パスの変更について

弊社にて、各コンテンツなどのディレクトリおよびファイルを移行しておりますが、  
旧サーバーと新サーバーでは、仕様の違いから、絶対パスが変更となります。

**ファイルの記述やアプリケーションの設定で、『サイトパス』を利用されているお客さまは、新サーバーの絶対パスを確認後、新サーバーの情報へ修正をお願いいたします。**

### ◆ メインドメインの場合

新サーバーの /var/www/vhosts/ ドメイン名/httpdocs に移行されます。

利用環境	絶対パス
旧サーバー	/home/FTP ユーザ名/public_html/
新サーバー	/var/www/vhosts/ ドメイン名/httpdocs

### ◆ サブドメインの場合

利用環境	絶対パス
旧サーバー	/home/FTP ユーザ名/public_html
新サーバー	プラスアルファ /var/www/vhosts/サブドメイン名/httpdocs レオサーバー /var/www/vhosts/ ドメイン名/httpdocs/subdomain/サブドメイン名

CMS などのアプリケーションをご利用のお客さまで、『サイトパス』のご設定をされているお客さまは  
各アプリケーションの開発元のサポートページをご参照ください。

## 4-4. DNS切り替え前にホームページの表示や動作を確認する

新サーバーには、旧サーバーのWebコンテンツデータが移行済みとなっておりますが、サーバーシステムに多少の違いがございます。

お手数ではございますが、お客様ご自身で、Webコンテンツの表示や動作に問題が発生していないかどうか、ご確認いただけますようお願いいたします。

### 4-4-1. プレビュー機能での確認

新サーバーでは、Plesk管理ツールのプレビュー機能にてWebページの表示確認が可能です。

- STEP1.コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



- STEP2.移行された契約一覧が表示されますので、移行済みのメールアカウントを確認したいドメイン名をクリックします。



- STEP3.「プレビュー」をクリックすると新サーバーのWebページが表示されます。



#### 4-4-2. hosts ファイルでの確認方法

WordPressなどの動的コンテンツを運用されている場合や、プレビューサーバー機能を利用して確認を行っても画像が表示されない場合はこちらの手順をお試しください。なお、下記の手順はWindowsOSのPCをご利用の場合の手順となります。

※hostsファイルを設定後、ページを表示する際にはブラウザのキャッシュをクリアしていただくか、F5キーなどでブラウザの更新をお願いいたします。

##### ■ STEP1.hosts ファイルの確認

ご利用のPCのhostsファイルを修正します。以下のシステムディレクトリまで進んでください。

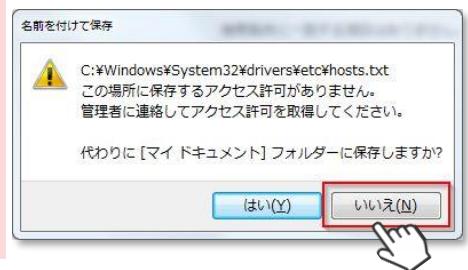
ご利用OS	hosts ファイル保存場所
Windows7	
Windows8	C:\Windows\System32\drivers\etc\
Windows10	

##### ■ STEP2.hosts ファイルを開く

上記のシステムディレクトリへ移動後、hostsファイル → メモ帳を開いてドラッグ&ドロップします。



※hosts ファイルをそのまま編集せずに上書き保存ができるかを  
ご確認ください。上書き保存ができた場合は『STEP 3』へお進みください。  
右図のように別ディレクトリへ保存を促すダイアログが表示された場合は、こちらへお進みください。ダイアログは「いいえ」を押して、hosts ファイルを  
閉じます。



### ■ STEP3.hosts ファイルに追記する

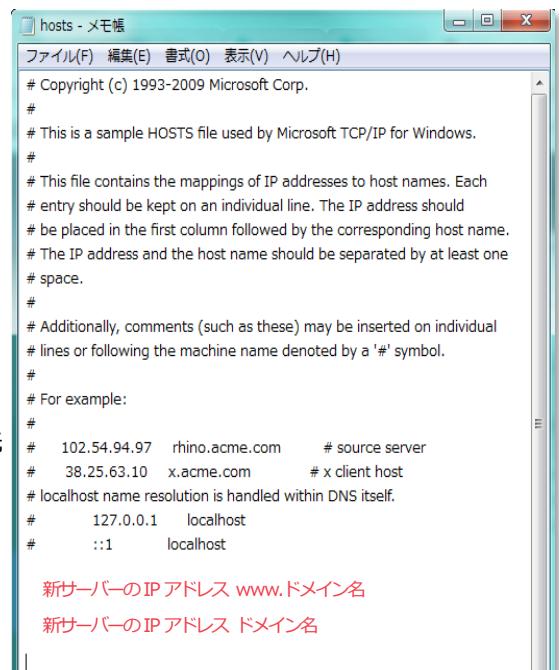
開いた hosts ファイルの一番下に下記の 2 行を追記して上書き保存します。  
※hosts.txt ではなく hosts のまま保存します。

新サーバーの IP アドレス www. ドメイン名  
新サーバーの IP アドレス ドメイン名

※IP アドレスとドメイン名の間に半角スペースを入力してください。

この記述ある hosts ファイルがある PC 上からだけ、ドメイン名の接続先が記述した IP アドレスになります。

表示確認が終わりましたら、忘れずに、hosts ファイルから、上記手順で追加した 2 行を削除し、上書き保存してください。



### 4-4-3. hosts ファイルを保存しようとしてエラーができる場合

hosts ファイルを保存しようとしてエラーができる場合は、下記のいずれかの手順をお試しください。

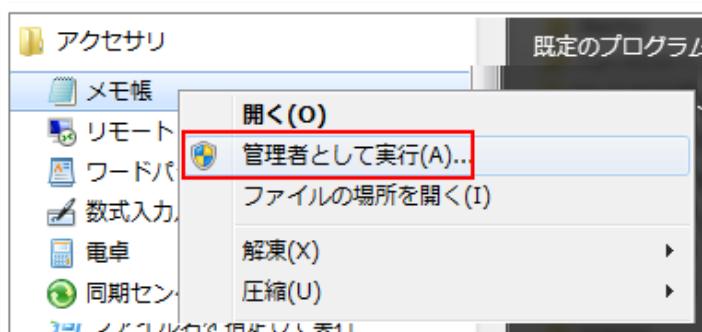
#### ■ 企業から PC を貸与されており、管理部門にて一括管理されている PC をご利用の場合

PC の管理部門に hosts ファイルの保存をしたい旨をお伝えください。

※セキュリティの観点から、編集できるファイルやディレクトリが制限されている場合がございます。

#### ■ 個人事業主さまやご自宅の PC など個人で管理されている PC をご利用の場合

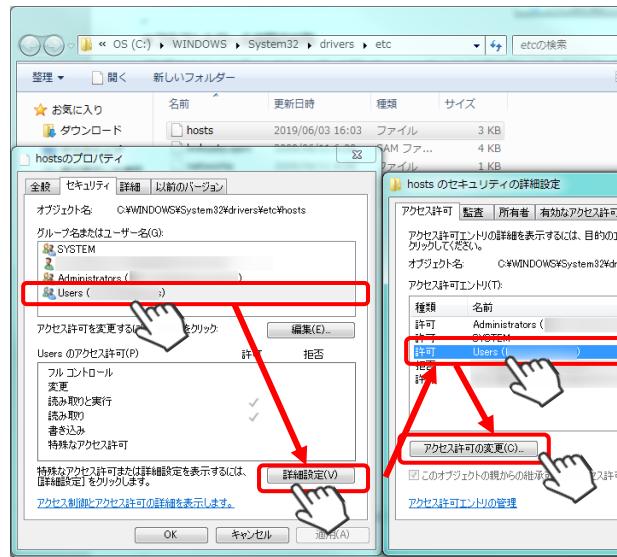
管理者として hosts ファイルを編集する方法がございます。PC の [スタート] ボタンから、[すべてのプログラム] > [アクセサリ] > メモ帳 と進み、右クリックをして [管理者として実行] を選択し、メモ帳を開いてから「STEP2」の手順を再度お試しください。



## ■ フルコントロール権限の付与

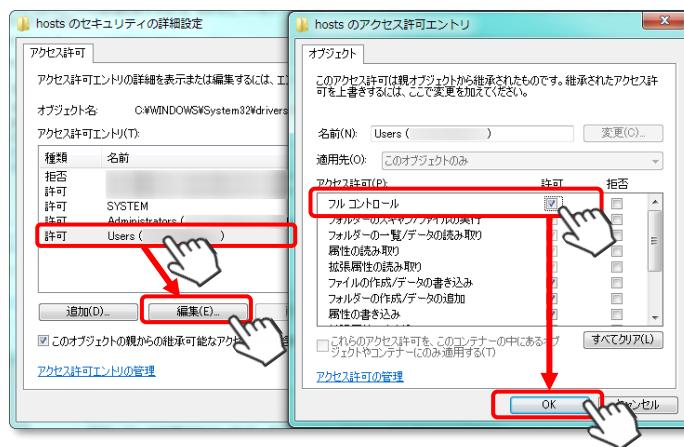
ご利用中のPCにログイン中のユーザーに対して、hostsファイルのプロパティから「フルコントロール権限」を付与することで、hostsファイルが編集可能になる場合があります。

- STEP1. [プロパティ] > [セキュリティタブ] > [ユーザーの選択] > [詳細設定] > [ユーザー名] の選択 > [アクセス許可の変更] の順に進みます。



- STEP2. ユーザー名を選択して [編集] をクリックします。[フルコントロール] の許可欄にチェックを入れて、[OK] をクリックします。

上記作業後にp.64 「STEP3」から再度お試しください。状況が改善されない場合はPCの管理者さまへご相談ください。



## 4-5. Web表示でエラーが発生する場合

新サーバーの各プログラム・データベースなどは、セキュリティ強化のため、バージョンアップをしております。

旧サーバーでお使いいただけたバージョンではご使用いただけていた記述や PHP プログラムの関数などが異なることから、Web 表示などに不具合が発生する場合がございます。

お客様からいただいた事例やよくあるご質問については、WADAX のサポートサイト [「よくある質問」](#) に  
随時更新をしてまいりますので、あわせてご確認くださいますようお願いいたします。

新サーバーでご利用いただける各プログラムなどのバージョンは以下のとおりです。

<b>PHP バージョン</b>	7.4.x / 7.3.x / 7.2.x / 7.1.x / 7.0.x / 5.6.x / 5.4.x から選択可 ※PHP7.2 まではサポートが終了しております。 新規で PHP バージョンを選択される場合は、7.4 を推奨しております。
<b>PHP 実行タイプ</b>	FPM アプリケーション+nginx FPM アプリケーション+Apache FastCGI アプリケーション+Apache
<b>Perl</b>	5.16.x
<b>MySQL / MariaDB</b>	5.6.x / 5.7.x

## 5. データベースについて

旧サーバーで利用されていたデータベースについては以下の手順で確認ができます。

### 5-1. データベースを確認する

- STEP1. コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



The screenshot shows a control panel interface. On the left, there's a sidebar with options: 'Home', 'ホスティングサービス', '顧客', 'ドメイン', and '契約'. The '契約' option is highlighted with a red box. To the right, the main area has a title '契約' and some explanatory text about managing hosting plans through contracts. Below the text are buttons: '+ 契約を追加', 'プランを変更', and a person icon.

- STEP2. 移行された契約一覧が表示されますので、対象ドメイン名配下の「データベース」をクリックします。



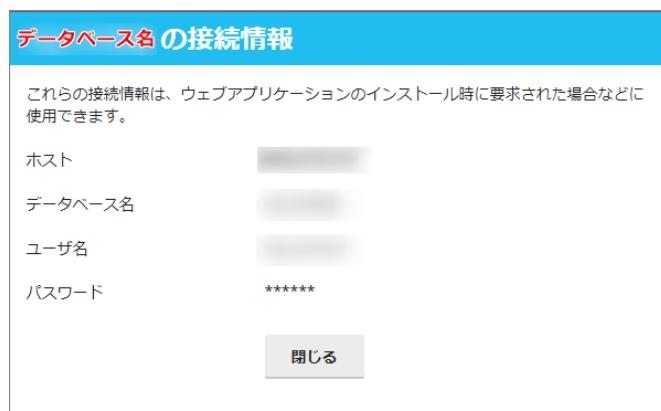
The screenshot shows a list of contracts. One contract is selected and highlighted with a red box. A large red arrow points from this selected contract down to the 'Database' tab in the sub-navigation menu of the sub-page below.

- STEP3. すでに作成されたデータベースがある場合は、下記のように表示されます。



The screenshot shows a database management interface. The 'Database' tab is active and highlighted with a red box. Below it, there's a sub-menu with various options: 'phpMyAdmin', '接続情報', 'コピーリンク', 'ダンプをエクスポート', 'ダンプをインポート', '契約に移動', and 'データベースを削除'. There's also a note: 'このデータベースをサイトに割り当てる' and a 'phpMyAdmin' link.

- STEP4. 「接続情報」をクリックするとデータベースの接続情報を一覧でご確認いただけます。



なお、あんしんWPサーバーでご利用いただけるデータベースのバージョン・接続先・ポート番号は以下となります。

データベース名	接続先 : ポート番号
MySQL v5.7.24	127.0.0.1:3317
MySQL v5.6.42	127.0.0.1:3316
MariaDB v5.5.68	localhost:3306
PostgreSQL v9.2.24	127.0.0.1:5432

#### ◆ phpPgAdminについて

PostgreSQLデータベースサーバーをwebブラウザ上から管理できるツールです。通常 PostgreSQL のデータベースは、サーバーに SSH 接続を行い PostgreSQL コマンドを利用して管理しますが、『phpPgAdmin』を利用することで、コマンド操作に慣れていなくても簡単にデータベースの管理を行うことができます。

- STEP1. コントロールパネル > phpPgAdmin をクリックします。

WADAX by GMO

検索...

POWERED BY plesk

ホーム

概要

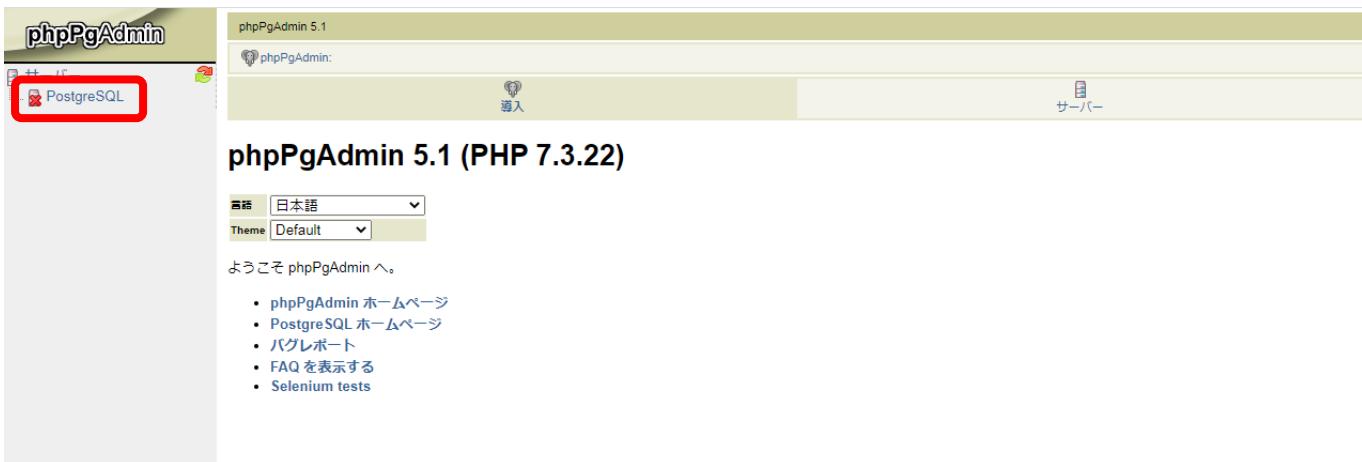
セットアップ日: 2021/02/4  
サービスプラン: a10- [マスク]  
ディスクスペース: 10 GB 中、0 MB 使用  
トラフィック: 無制限 中、0 MB/月 使用  
リソース使用量の詳細  
自社のリソースとパーミッションの概要

顧客: 全 0 件 [新規追加]  
すべての契約: 全 1 件 [編集]  
ナレッジベース: 全 1 件 [編集]

マイ契約

自社用の契約を作成

- STEP2. 『phpPgAdmin』の画面が別ウィンドウ（またはタブ）で開きます。画面左メニューの「PostgreSQL」をクリックします。



- STEP3.ログイン画面が表示されますので、新しく発行されたDBユーザー名とパスワードを入力後、[ログイン] をクリックします。



- STEP4.ログイン完了です。

## 5-2. データベース移行について

「データベース名」「データベースユーザー名」「データベースパスワード」は**すべて新しい情報**となっております。

新しいデータベースの情報につきましては、[2各種パスワードについて](#)をご確認ください。

### ◆ 各種アプリケーションの設定ファイルについて

「データベース名」「データベースユーザー名」「データベースパスワード」が新しくなりましたので、各種アプリケーションの設定ファイルの編集が必要です。

なお、[WordPress データベースをご利用の場合、WordPress 設定ファイル「wp-config.php」の接続先データベース情報は、自動的に変更後のデータベース情報に書き換わります。](#)

WordPress 以外または独自プログラムなどでデータベースをご利用の場合、[設定ファイル内のデータベース接続情報は、自動的には書き換わりませんのでご注意ください。](#)

## 6. Let's Encrypt の設定 【必須】

旧サーバーで Let's Encrypt をご利用されていたお客様は新サーバー側でも Let's Encrypt の設定が必要です。

なお、DNS サーバー切り替え前にお手続きを行うとエラーとなるため、DNS サーバーの変更を行った後に、以下の手順にて設定を行ってください。

### 6-1. Let's Encryptの設定手順

- STEP1.コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



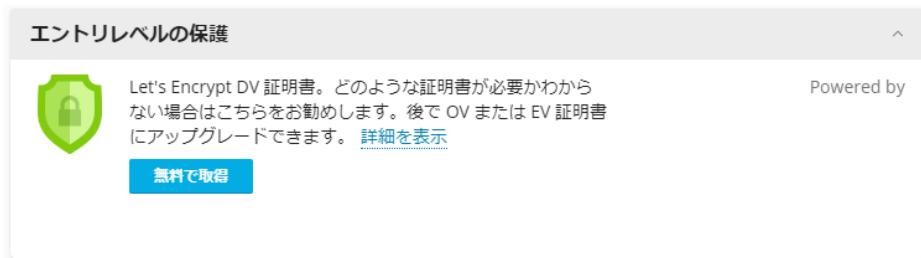
- STEP2.移行された契約一覧が表示されますので、Let's Encrypt の設定をおこなうドメイン名をクリックします。

契約		契約者
顧客がホスティングプランを利用するには、ホスティングプランを契約する必要があります。この画面で、自社の契約とともに、これらの契約を管理することができます。契約で提供するサービス（ウェブサイトやメールなど）をクリックして契約者の顧客パネルを開いてください。		
<input type="checkbox"/>	契約	
<input type="checkbox"/>	✓ <a href="#">http://www.wadax.com</a> (Let's Encrypt証明書)	1
<input type="checkbox"/>	✓ <a href="#">http://www.wadax.com</a> (Let's Encrypt証明書)	1

- STEP3. 「ウェブサイトとドメイン」 > 「SSL/TLS 証明書」をクリックします。



■ STEP4. 「無料で取得」をクリックします。



■ STEP5. 画面左側に設定項目が表示されますので、メールアドレスを入力します。

それぞれ必要に応じてチェックを入れて「無料で取得」をクリックします。

※メールアドレスが入力されている場合は確認をお願いします。

※メールサーバーのホスト名は「\*\*.wadax.ne.jp」となりますので、「メールドメインに証明書を割り当てる」のチェックはご不要です。

Let's Encrypt は、所有するドメイン用に無料 SSL/TLS 証明書を作成できる認証局（CA）です。  
続行すると、Let's Encrypt ご利用条件を読み、同意したことになります。  
注：証明書は有効期限の 30 日前に自動更新されます。

◆ ワイルドカードドメインを保護（www とウェブメールを含む）を選択した場合

サブドメインなどを含めてすべて保護する場合は「ワイルドカードドメインを保護（www とウェブメールを含む）」を選択します。証明書発行中の画面で少し時間をおいて、[リロード]をクリックします。



## 7. DNS レコード設定

DNS レコード設定はコントロールパネル上で、DNS レコードの確認・追加・変更・削除を行えます。

### 7-1. DNSレコードの確認

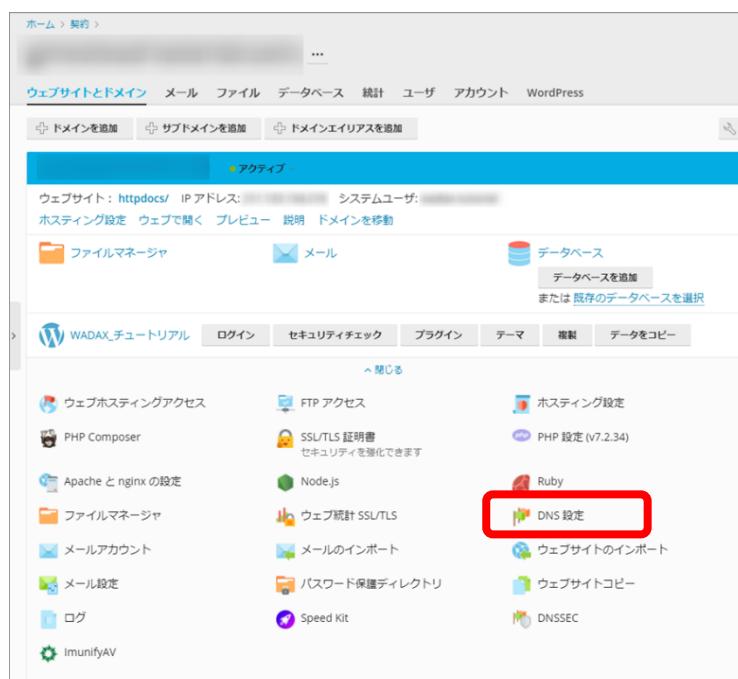
- STEP1.コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



- STEP2.移行された契約一覧が表示されますので、DNS レコードの確認をするドメイン名をクリックします。



- STEP3.「ウェブサイトとドメイン」 > 「DNS 設定」をクリックします。



- STEP4.DNSレコード設定の画面が表示されます。画面に移行されたDNSレコードが表示されますのでご確認ください。

DNS SOA			
<input type="button"/> 無効化		<input type="button"/> レコードを追加	<input type="button"/> デフォルトにリセット
<input type="button"/> 削除			
全10件 ページあたり10			
□ ホスト	レコードタイプ	値	
□ lists. <a href="#">[REDACTED]</a>	CNAME	<a href="#">[REDACTED].wadax.ne.jp.</a>	
□ mail. <a href="#">[REDACTED]</a>	A	<a href="#">[REDACTED].wadax.ne.jp.</a>	
□ <a href="#">[REDACTED]</a>	NS	<a href="#">[REDACTED].wadax.ne.jp.</a>	
□ <a href="#">[REDACTED]</a>	NS	<a href="#">[REDACTED].wadax.ne.jp.</a>	
□ _dmarc. <a href="#">[REDACTED]</a>	TXT	v=DMARC1; p=none	
□ <a href="#">[REDACTED]</a>	TXT	v=spf1 +ip4: <a href="#">[REDACTED]</a> +include:wpmx.wadax.ne.jp ~all	
□ www. <a href="#">[REDACTED]</a>	CNAME	<a href="#">[REDACTED].wadax.ne.jp.</a>	
□ <a href="#">[REDACTED]</a>	MX (10)	<a href="#">[REDACTED].wadax.ne.jp.</a>	
□ webmail. <a href="#">[REDACTED]</a>	A	<a href="#">[REDACTED].wadax.ne.jp.</a>	
□ <a href="#">[REDACTED]</a>	A	<a href="#">[REDACTED].wadax.ne.jp.</a>	
全10件 ページあたり10			

## 7-2. DNSレコード追加・変更

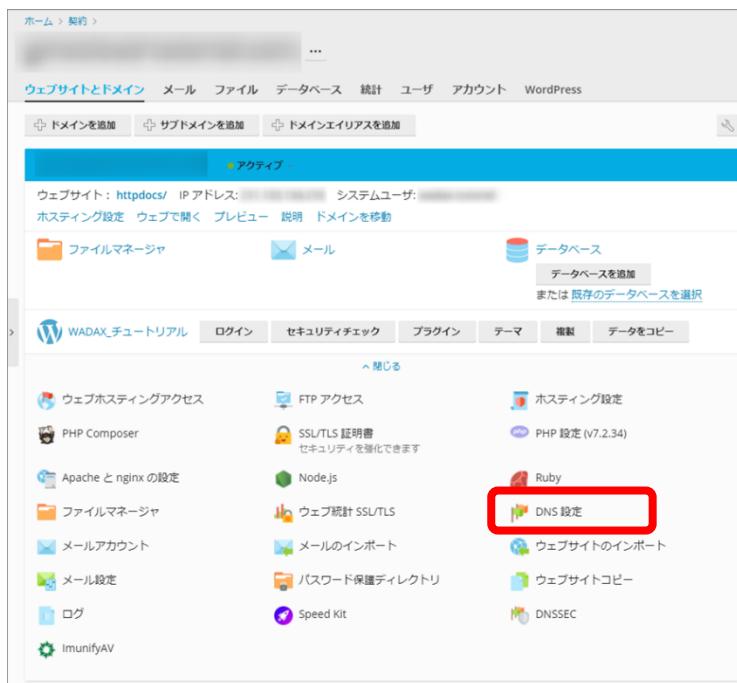
- STEP1.コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。

The screenshot shows the left sidebar of the control panel with several menu items: 'Home', 'Hosting Services', 'Customer', 'Domain', and 'Contracts'. The 'Contracts' item is highlighted with a red box. Below the sidebar, there's a large title '契約' (Contracts) and a brief explanatory text about managing hosting plans through contracts. At the bottom of the screen, there are four buttons: 'Contract Add' (契約を追加), 'Plan Change' (プランを変更), 'Customer Change' (契約者を変更), and 'Status Change' (ステータスを変更). There's also a 'Delete' (削除) button.

- STEP2.移行された契約一覧が表示されますので、DNSレコードの確認をするドメイン名をクリックします。

The screenshot shows the 'Contracts' list page. It displays a table with three rows of contract information. The first row, which corresponds to the domain 'wadax.ne.jp', has a green checkmark icon next to it and is highlighted with a red box. The other two rows also have green checkmarks. The columns in the table are 'Contract' (契約), 'Plan' (プラン), 'Customer' (契約者), and 'Status' (ステータス). Below the table, there are four buttons: 'Contract Add' (契約を追加), 'Plan Change' (プランを変更), 'Customer Change' (契約者を変更), and 'Delete' (削除).

■ STEP3. 「ウェブサイトとドメイン」 > 「DNS 設定」をクリックします。



■ STEP4.DNS レコード設定の画面が表示されます。画面に移行された DNS レコードが表示されます。追加・修正手順は以下を参考ください。

DNS SOA			
無効化	マスター/スレーブ	レコードを追加	デフォルトにリセット
全 10 件			ページあたりの
<input type="checkbox"/> ホスト	レコードタイプ	値	
<input type="checkbox"/> lists. <a href="#">[REDACTED]</a>	CNAME	<a href="#">[REDACTED]</a>	
<input type="checkbox"/> mail. <a href="#">[REDACTED]</a>	A	<a href="#">[REDACTED]</a>	
<input type="checkbox"/> <a href="#">[REDACTED]</a>	NS	<a href="#">[REDACTED]</a> .wadax.ne.jp.	
<input type="checkbox"/> <a href="#">[REDACTED]</a>	NS	<a href="#">[REDACTED]</a> .wadax.ne.jp.	
<input type="checkbox"/> _dmarc. <a href="#">[REDACTED]</a>	TXT	v=DMARC1; p=none	
<input type="checkbox"/> <a href="#">[REDACTED]</a>	TXT	v=spf1 +ip4: <a href="#">[REDACTED]</a> +include:wpmx.wadax.ne.jp ~all	
<input type="checkbox"/> www. <a href="#">[REDACTED]</a>	CNAME	<a href="#">[REDACTED]</a>	
<input type="checkbox"/> <a href="#">[REDACTED]</a>	MX (10)	<a href="#">[REDACTED]</a> .wadax.ne.jp.	
<input type="checkbox"/> webmail. <a href="#">[REDACTED]</a>	A	<a href="#">[REDACTED]</a>	
<input type="checkbox"/> <a href="#">[REDACTED]</a>	A	<a href="#">[REDACTED]</a>	
全 10 件			ページあたりの

## 7-2-1. DNS レコード新規追加

「レコード追加」をクリックし、レコードタイプのプルダウンから設定したいレコードを選択して、任意の値を入力します。



The screenshot shows a list of existing DNS records. At the top, there are tabs for 'DNS' and 'SOA'. Below them are buttons for '無効化' (Disable), 'マスター/スレーブ' (Master/Slave), 'レコードを追加' (Add Record) which is highlighted with a red box, 'デフォルトにリセット' (Reset to Default), and '削除' (Delete). The main area displays 10 records with columns for Host, Record Type, and Value. The records include various types like CNAME, A, NS, TXT, and MX. The 'Add Record' button is located at the top right of the table area.

ホスト	レコードタイプ	値
lists.[REDACTED]	CNAME	[REDACTED]
mail.[REDACTED]	A	[REDACTED]
[REDACTED]	NS	[REDACTED].wadax.ne.jp.
[REDACTED]	NS	[REDACTED].wadax.ne.jp.
_dmarc.[REDACTED]	TXT	v=DMARC1; p=none
[REDACTED]	TXT	v=spf1 +ip4:[REDACTED] +include:wpmx.wadax.ne.jp ~all
www.[REDACTED]	CNAME	[REDACTED]
[REDACTED]	MX (10)	[REDACTED].wadax.ne.jp.
webmail.[REDACTED]	A	[REDACTED]
[REDACTED]	A	[REDACTED]

## 7-2-2. 既存レコードの変更

レコードの一覧から、該当のレコードのホスト名をクリックし、任意の値を入力します。

The screenshot shows a DNS management interface with the following details:

- Header: DNS SOA
- Buttons: 無効化 (Deactivate), マスター/スレーブ (Master/Slave), レコードを追加 (Add Record), デフォルトにリセット (Reset to Default), 削除 (Delete)
- Table Headers: 全10件 (10 items), ホスト (Host), レコードタイプ (Record Type), 値 (Value)
- Table Data:
  - lists.[REDACTED].COM CNAME [REDACTED]
  - mail.[REDACTED].COM A [REDACTED]
  - [REDACTED] NS [REDACTED].wadax.ne.jp.
  - [REDACTED] NS [REDACTED].wadax.ne.jp.
  - \_dmarc.[REDACTED].COM TXT v=DMARC1; p=none
  - [REDACTED] TXT v=spf1 +ip4:[REDACTED] +include:wpmx.wadax.ne.jp ~all
  - www.[REDACTED].COM CNAME [REDACTED]
  - [REDACTED] MX (10) [REDACTED].wadax.ne.jp.
  - webmail.[REDACTED].COM A [REDACTED]
  - [REDACTED] A [REDACTED]
- Page Navigation: 全10件 (10 items), ページあたりの (Items per page)

主なDNSレコードタイプ	
Aレコード (Address)	IPv4のIPアドレスとホスト名の関連付けを定義するレコードです。 「www」などのホスト名を入力し「IPアドレス」のフォームにサーバーのグローバルIPアドレスを入力します。
MXレコード (Mail Exchanger)	メールサーバーを定義するレコードです。優先度、メールサーバーのホスト名(FQDN)などを入力します。
TXTレコード (Text)	ドメインの付加情報などを任意で定義できるレコードです。 SPF (Sender Policy Framework) や、Let's Encryptのチャレンジトークンの値、DKIM や DMARC の値などを設定できます。
CNAMEレコード (Canonical Name)	ドメインのホスト名に対する「別名」を設定できるレコードです。「正規名」のフォームに別名としてのホスト名を入力します。 ※他社サービスを独自ドメインで利用される際に設定が必要な場合があります。 ※同じホスト名に対し、Aレコードなど、その他のレコードと重複しての登録はできませんので、ご注意ください。
SRVレコード (Service)	ドメインで提供される負荷分散などのサービスについて、プロトコル(UDP/TCP)やポート番号などを定義するレコードです。 ※Microsoft Office365などのサービスで設定が必要な場合があります。

- STEP5.各レコードの設定値を入力後、[OK] をクリックします。

#### ◆ A レコード



A record configuration dialog box. It has a dropdown menu for 'レコードタイプ' (Record Type) set to 'A'. Below it are two input fields: 'ドメイン名' (Domain Name) and 'IP アドレス \*' (IP Address \*). A note below says '例: 123.123.123.123'. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

#### ◆ MX レコード

※「メールエクスチェンジサーバー」のご入力時、最後に「.(ドット)」が入らないようにご注意ください。



MX record configuration dialog box. It has a dropdown menu for 'レコードタイプ' (Record Type) set to 'MX'. Below it are three input fields: 'メールドメイン' (Mail Domain), 'メールエクスチェンジサーバ' (Mail Exchanger), and 'メールエクスチェンジサーバの優先度を指定' (Specify Priority). A note below says '例: 最高 (0)' (Highest (0)). At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

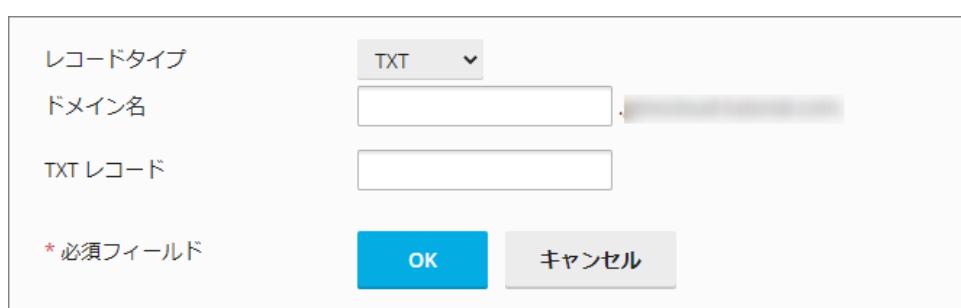
■メールエクスチェンジサーバー 入力例: wps\*\*.wadax.ne.jp

■優先度: 基本設定は「10」です。 ※優先度の値が小さいほど優先度は高くなります。

※G Suiteなどのグループウェアを利用する場合、複数の MX レコードを設定する場合があります。

#### ◆ TXT レコード

※ダブルクオーテーション(")での囲みは不要です。値をそのままご入力ください。



TXT record configuration dialog box. It has a dropdown menu for 'レコードタイプ' (Record Type) set to 'TXT'. Below it are two input fields: 'ドメイン名' (Domain Name) and 'TXT レコード' (TXT Record). A note below says '例: v=spf1 +ip4:123.456.789.XXX +include:wpmx.wadax.ne.jp ~all'. At the bottom are 'OK' and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

■TXT レコード 入力例: v=spf1 +ip4:123.456.789.XXX +include:wpmx.wadax.ne.jp ~all

## ◆ CNAME レコード

※「正規名」のご入力時、最後に「.(ドット)」が入らないようにご注意ください。

The dialog box shows the following fields:  
レコードタイプ: CNAME  
ドメイン名: [redacted].  
正規名\*: [redacted].  
\* 必須フィールド  
OK キャンセル

■正規名 入力例 : example.com

The dialog box shows the following fields:  
レコードタイプ: SRV  
サービス名\*: [redacted]  
例: SIP  
プロトコル\*: [redacted]  
ドメイン名: [redacted].  
優先度: 最高 (0)  
同じ優先度のレコードに対する相対的な重み: 10  
ターゲットホスト: [redacted].  
ターゲットポート\*: [redacted]  
\* 必須フィールド  
OK キャンセル

■サービス名 入力例 : SIP

■プロトコル 入力例 : \_tls、\_tcp、\_udp など

■優先度 : 0~50 の範囲で選択可

■同じ優先度のレコードに対する相対的な重み : 0~50 の範囲でプルダウンから選択可

■ターゲットホスト : ホスト名をご入力ください。※最後に「.(ドット)」が入らないようにご注意ください。

■ターゲットポート : サービス・プロトコルで使用するポート番号を整数でご入力ください。

■ STEP6. 以下のメッセージが表示されますので、[更新] をクリックします。

! DNS レコードに加えた変更がまだ保存されていません。変更は、レコードリスト内でマークが付いています。[更新] をクリックすると、DNS ゾーンに変更が適用されます。[戻す] をクリックすると、変更がキャンセルされます。

更新

戻す

■ STEP7. 以下のメッセージが表示されたら、追加または変更が完了です。

✓ 情報: DNS レコードに加えられた変更が正常に保存されました。

## 7-3. レコードの削除

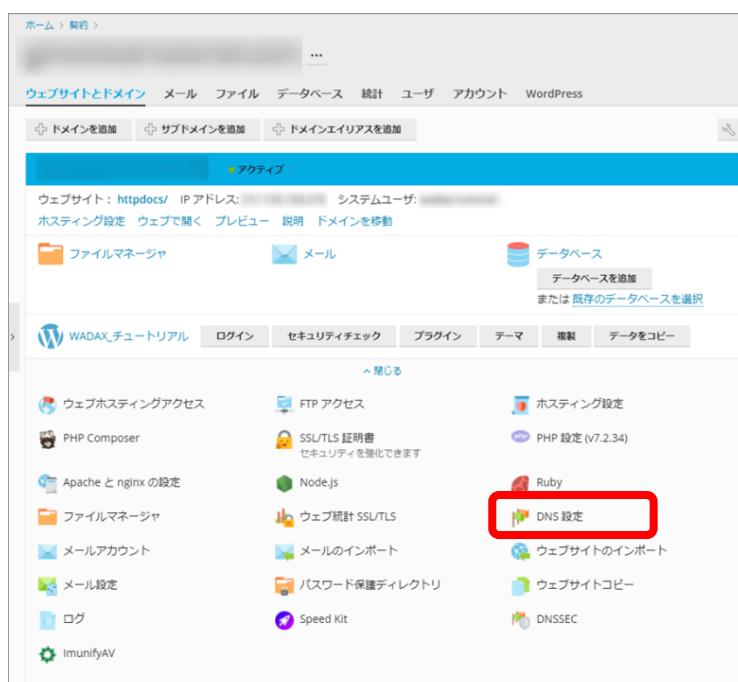
- STEP1.コントロールパネルへログイン > 左側メニューの「契約」をクリックします。



- STEP2.移行された契約一覧が表示されますので、DNS レコードの確認をするドメイン名をクリックします。

契約		契約者
<input type="checkbox"/>	契約	
<input checked="" type="checkbox"/>	httpdocs.wadax.jp	1
<input type="checkbox"/>	httpdocs.wadax.com	1

- STEP3.「ウェブサイトとドメイン」 > 「DNS 設定」をクリックします。



■ STEP4.DNS レコード設定の画面が表示されます。削除したい DNS レコードにチェックをいれます。

ホスト	レコードタイプ	値
lists	CNAME	lists.wadax.ne.jp.
mail	A	123.45.67.89
	NS	wadax.ne.jp.
	NS	wadax.ne.jp.
_dmarc	TXT	v=DMARC1; p=none
	TXT	v=spf1 +ip4:123.45.67.89 +include:wpmx.wadax.ne.jp ~all
www	CNAME	www.wadax.ne.jp.
	MX (10)	wadax.ne.jp.
webmail	A	123.45.67.89
	A	123.45.67.89

■ STEP5.「削除」をクリックします。

■ STEP6.「選択した DNS レコードを削除しますか？」と表示ができるので、削除対象を確認後、【はい】をクリックします。



■ STEP6.以下のメッセージが表示されますので、【更新】をクリックします。

! DNS レコードに加えた変更がまだ保存されていません。変更は、レコードリスト内でマークが付いています。【更新】をクリックすると、DNS ゾーンに変更が適用されます。【戻す】をクリックすると、変更がキャンセルされます。

[更新](#) [戻す](#)

■ STEP7. 以下のメッセージが表示されたら、追加または変更が完了です。

✓ 情報: DNS レコードに加えられた変更が正常に保存されました。

## プラスアルファ・ギガサーバー / レオサーバー

<https://www.plus-server.net>

<https://www.leosv.jp>

## 9月1日以降のお問い合わせ窓口

WADAX サポート窓口

<https://www.wadax.ne.jp/support/>